ニコンデジタルカメラ

COOLPIX L6

クールピクスL6

使用説明書

商標説明

- Microsoft®およびWindows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh®、Mac OS®、QuickTime®は米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDロゴおよびPictBridgeロゴは商標です。
- D- ライティングは apical アピカル社の技術によるものです。
- 顔認識AFはIdentix®（アイデンティクス社）の技術によるものです。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。
この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠**危険**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。**
⚠**警告**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠**注意**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。**

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例	
	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告（カメラについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
電池を取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。

使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
発光禁止	**車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと** 事故の原因となります。
発光禁止	**フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影する時は1m以上離れてください。
保管注意	**幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
警告	**指定の電池または専用ACアダプターを使用すること** 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。
使用禁止	**ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠ 注意（カメラについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
保管注意	**製品は、幼児の手の届かない所に置くこと** ケガの原因になることがあります。
保管注意	**使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
移動注意	**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。
使用注意	**飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと** 本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。 病院で使う際も、病院の指示に従ってください。
禁止 プラグを抜く	**長期間使用しないときは電源（電池やACアダプター）を外すこと** 電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。 AC アダプターをご使用の場合には、ACアダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
発光禁止	**内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと** やけどや発火の原因となることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。
放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** 内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
禁止	**付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと** 機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼす場合があります。

⚠危険
（リチウム電池、アルカリ電池、
オキシライド乾電池について）

危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること
そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告
（リチウム電池、アルカリ電池、
オキシライド乾電池について）

警告

外装チューブをはがしたり、傷を付けないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

電池に表示された警告、注意を守ること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

使用説明書に表示された電池を使用すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

保管注意

電池は幼児の手の届かない所に置くこと
幼児の飲み込みの原因となります。万一飲み込んだ場合はただちに医師にご相談ください。

警告

電池の「＋」と「－」の向きを間違えないようにすること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。

禁止

充電池以外は充電しないこと
液もれ、発熱の原因となります。

警告

電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。お住まいの自治体の規則にしたがって廃棄してください。

警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠警告
（アルカリ電池、
オキシライド乾電池について）

警告

使い切った電池はすぐにカメラから取り出すこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠危険
（ニッケル水素電池について）

使用禁止

リチャージャブルバッテリーEN-MH1は、COOLPIX用Ni-MH電池2本を使用するニコンデジタルカメラ専用の充電池です
この機器以外には使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

専用のチャージャーを使用して2本セットで同時に充電すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 危険	**電池の「＋」と「－」の向きを間違えないようにすること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 分解禁止	**電池をショート、分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 禁止	**新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告
（ニッケル水素電池について）

 危険	**外装チューブを外したり、傷をつけないこと** **また、外装チューブがはがれたり、傷がついている電池は絶対に使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池に表示された警告、注意を守ること** 液もれ、破裂、発火の原因となります。
 水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
 禁止	**変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
 保管注意	**電池は幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。
 警告	**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること** 液もれ、発熱の原因となります。
 警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。
 警告	**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービスセンターまたはリサイクル協力店にご持参くださるか、お住まいの自治体の規則にしたがって廃棄してください。
 警告	**使用説明書に表示された電池を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠注意
（ニッケル水素電池について）

 注意	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

目次

使用説明書について

ニコンデジタルカメラCOOLPIX L6をお買い上げくださいまして、まことにありがとうございます。

お使いになる前に、この使用説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

●本文中のマークについて

カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。

カメラを使用する場合に、便利な情報を記載しています。

カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。

関連情報を記載した参照ページを記載しています。

●表記について

- SDメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージ等は、［ ］で囲って表記しています。

●画面例について

本書では、液晶モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。

●本文中のイラストについて

本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

内蔵メモリーとSDカードについて

本機は、内蔵メモリーとSDメモリーカードの両方に対応しています。SDメモリーカードをカメラにセットしているときは、SDメモリーカードが優先して使用されます。内蔵メモリーを使用して、撮影、再生、削除、初期化などの操作をするときは、SDメモリーカードをカメラから取り出してください。

ご確認ください

●保証書とカスタマー登録カードについて

この製品には保証書とカスタマー登録カードが付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入後1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

カスタマー登録は下記のWebサイトからも行えます。

https://reg.nikon-image.com/

●カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、ACアダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

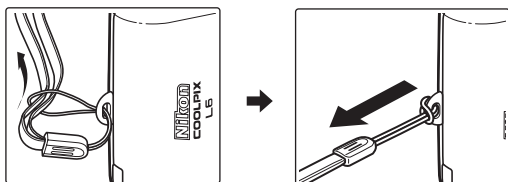
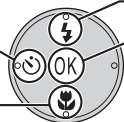
●使用説明書について

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、ニコンサービスセンターで新しい使用説明書をお求めください（有料）。

●著作権についてのご注意
あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡／廃棄するときのご注意
メモリー(メモリーカード／カメラ内蔵メモリーを含む)内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には消去されません。譲渡／廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。
メモリーを譲渡／廃棄する際は、市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、「オープニング画面」の「撮影した画像」(92)も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡／廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビの近くでお使いになると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書にしたがって正しくお取り扱いください。

各部の名称

電源ランプ（10）

電源スイッチ（10）

スピーカー（48、53、56）

シャッターボタン（20）

セルフタイマーランプ（26）

内蔵フラッシュ（24）

レンズ（108、119）

レンズ収納時

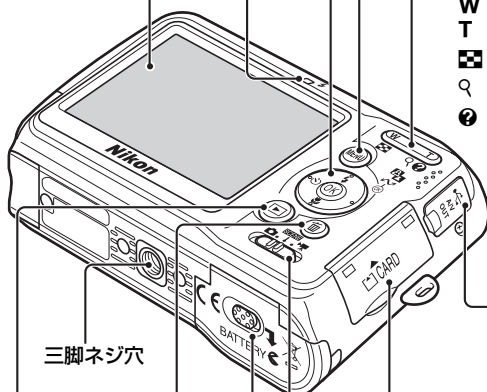
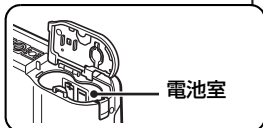
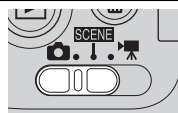
レンズバリアー

マイク（48、49、54）

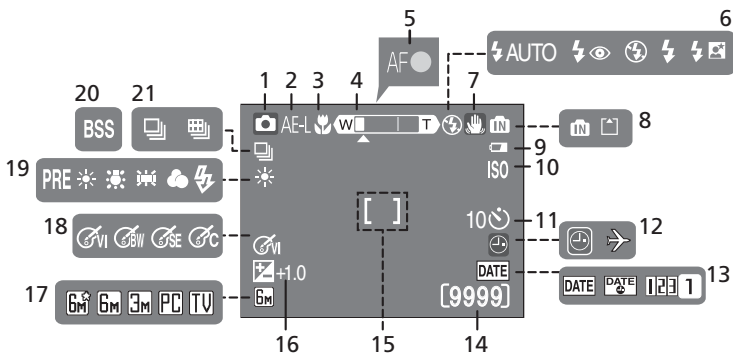
アダプターコード穴カバー（別売のACアダプター接続時に使用 106）

ストラップ取り付け部

ストラップの取り付け方

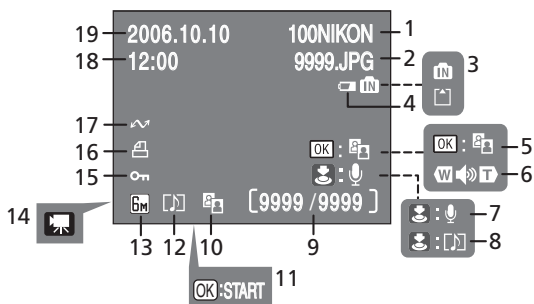
マルチセレクター（8）
：フラッシュモード（24）
：セルフタイマー（26）
設定を決定する（画像の転送（62）にも使います。）
：マクロモード（27）
フラッシュランプ（25）
MENU（メニュー）ボタン（9）
液晶モニター（6）
ズームボタン（18）
W：広角ズーム
T：望遠ズーム
：サムネイル表示［42］
：拡大［43］
：ヘルプ［9］
端子カバー（61、62、67）
端子カバーの開閉
ケーブル接続端子
三脚ネジ穴
（削除）ボタン（22、48、53、57）
SDカードカバー（14）
（再生）ボタン（22、42）
電池室カバー（10）
電池室
モードセレクター（8、16、28、49）

液晶モニターの表示内容

説明のため、すべての表示を点灯させています。

撮影時

1	撮影モード※ ……… 16、28、49	12	時計マーク ……… 111 ワールドタイム ……… 93
2	AE-L表示 ……… 41	13	デート写し込み ……… 97
3	マクロモード ……… 27	14	記録可能コマ数（静止画）……… 16 記録可能時間（動画）……… 49
4	ズーム表示 ……… 18、27	15	AFエリア ……… 20
5	AF表示 ……… 20	16	露出補正値 ……… 79
6	フラッシュモード ……… 24	17	画像モード ……… 75
7	手ブレ警告 ……… 25	18	ピクチャーカラー ……… 81
8	内蔵メモリー／ SDカード表示 ……… 17	19	ホワイトバランス ……… 77
9	バッテリーチェック ……… 16	20	BSS ……… 81
10	ISO感度表示 ……… 25	21	連写モード ……… 80
11	セルフタイマー ……… 26		

※ 撮影モードによって表示されるアイコンが異なります。各撮影モードを参照してください。

音声のみの録音／再生時の液晶モニター表示は「音声レコード機能を使う」（54）をご覧ください。

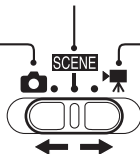
再生時

1	フォルダ名 107	11	動画再生ガイド......................... 53
2	ファイル名 107	12	音声メモ表示............................ 48
3	内蔵メモリー／SDカード表示 ..17	13	画像モード................................ 75
4	バッテリーチェック 16	14	動画モード................................ 53
5	D-ライティングガイド..............45	15	プロテクト表示......................... 87
6	音量 ....48、53	16	プリント指定表示 72
7	音声メモガイド（録音）............48	17	転送マーク..........................65、88
8	音声メモガイド（再生）............48	18	撮影時刻.................................... 12
9	画像の番号／全画像数 ....22 動画の再生時間..........................53	19	撮影日 12
10	D-ライティング済み表示..........45		

主なボタン操作とヘルプの使い方

モードセレクターの使い方

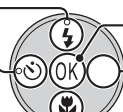
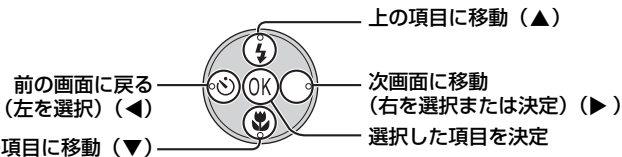
モードセレクターの中央を、使用したいモードに合わせます。

SCENE：シーンモード（28）
パーティーや夜景など15種類のシーンに応じた設定で撮影できます。
さらに、音声のみを録音／再生できる「音声レコード」も選べます。

：オートモード（16）
カメラまかせで簡単に撮影できます。

：動画モード（49）
動画が撮影できます。再生の目的に応じて、5種類の中から動画設定が選べます。

マルチセレクターの使い方

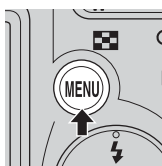
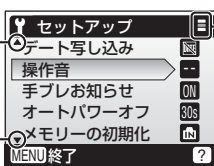
マルチセレクターは、撮影時にフラッシュモード、セルフタイマー、マクロモードの各機能を設定するだけでなく、以下のような使い方があります。

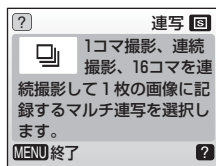
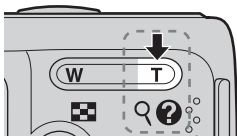
1コマ再生時

メニュー操作時

※ 操作文中では、上下左右のボタンを▲▼◀▶ で示します。

MENU（メニュー）ボタン

MENUボタンを押すと、選択しているモードに応じて以下のメニューが表示されます。

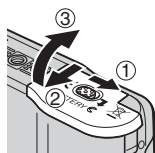
📷	：オートモード	→	**撮影メニュー**（74）
SCENE	：シーンモード	→	**シーンメニュー**（28）
🎥	：動画モード	→	**動画メニュー**（50）
▶	：再生モード	→	**再生メニュー**（83）

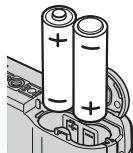
各メニューの一番上にある［セットアップ］を選ぶと、セットアップメニュー（90）を表示できます。

ヘルプの表示方法

各メニュー画面で❓（**T**）ボタンを押すと、現在選択中の項目に関する説明が表示されます。

マルチセレクターの▲▼を押すと、上または下のメニュー項目のヘルプ画面が表示されます。ヘルプ画面でⓀボタンを押すと、そのメニュー項目の設定画面に移ります。

電池を入れる

1 電池室カバーを開ける

- 電池室カバーを開けるときは、電池が落下しないよう、カメラの底面を上に向けてください。

2 電池を入れる

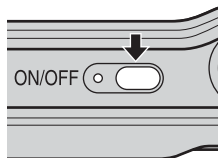
- 右図のように正しい向きで入れてください。

3 電池室カバーを閉じる

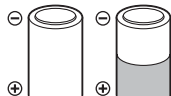
使用できる電池について

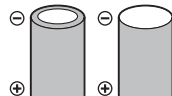
このカメラでお使いいただける電池は、以下のとおりです。

- 単3形リチウム電池（FR6/L91）（付属の電池）×2本
- 単3形アルカリ電池（LR6）×2本
- 単3形ニコン製リチャージャブルバッテリー EN-MH1（ニッケル水素電池）×2本
- 単3形オキシライド乾電池（ZR6）×2本

電源をON/OFFするには

電源スイッチを押すと、電源がONになり電源ランプ（緑）が一瞬点灯し、液晶モニターが点灯します。もう一度電源スイッチを押すと、電源はOFFになります。

電池を取り出すときは
電源ランプと液晶モニターが消灯していることを確認してから、電池を取り出してください。

電池についてのご注意
- 「安全上のご注意」の「警告」、「危険」（ iv～v）や取り扱い上のご注意の注意事項を必ずお守りください。
- 新しい電池と使いかけの電池を混ぜたり、種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使わないでください。
- 以下のような電池は使用しないでください。

外装シールの一部またはすべてがはがれている電池

マイナス電極の一部が突き出ていて、外装シールが側面にしかない電池

マイナス電極が平らな電池

［重要］電池設定について
このカメラは、使用電池の種類を設定することで、電池を効率よく使うことができます。初期設定は［リチウム電池］です。リチウム電池以外の電池をご使用になるときには、電源をONにしてから電池設定を変更してください（ 105）。

アルカリ電池の性能について
アルカリ電池はメーカーにより性能が大きく異なる場合がありますので、信頼できるメーカーの電池をご使用ください。

AC電源について
再生時やパソコンとの接続時などカメラを長時間使う場合は、別売のACアダプターキットEH-65Aをおすすめします。ACアダプターキットを使用すると、家庭用コンセント（AC100V）からCOOLPIX L6へ電源を供給することができます。EH-65A以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

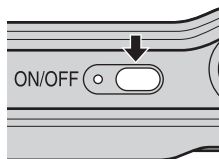
撮影時の節電機能について
このカメラは液晶モニターの明るさを自動的に調整して見やすくし、電池の消耗を抑えます。また、電源がONの状態で何も操作しないまま約15秒経過すると、液晶モニターが消灯して電源ランプが点滅します。さらに何も操作しないまま約15秒経過するとオートパワーオフの待機状態に入りますが、シャッターボタンを半押しすると電源ONの状態に戻ります。待機状態に入ってから約3分経過すると、電源がOFFになります。

待機状態になるまでの時間は変更することもできます（ 100)。

表示言語と日時を設定する

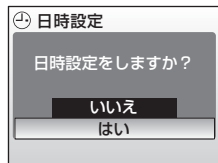
はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

1 電源スイッチを押して、電源をONにする

- 電源ランプ（緑）が一瞬点灯し、液晶モニターが点灯します。

2 マルチセレクターの ▲▼◀▶ で表示言語を選び、Ⓚボタンを押す

- マルチセレクターの使い方がわからないときは→8

3 ▲▼で［はい］を選び、Ⓚボタンを押す

- ［いいえ］を選ぶと日時設定されません。

4 ▶ を押す

- ［自宅の設定］画面が表示されます。
- 夏時間（サマータイム）が現在実施されている場合は、次ページの「夏時間の設定について」をご覧ください。

5 ◀▶ で自宅のあるタイムゾーン（都市名）を選び、Ⓚボタンを押す

- ［日時設定］画面が表示されます。

撮影の準備

6 ▲▼で［年］を合わせ、▶ を押す

7 ▲▼で［月］を合わせ、▶ を押す

8 手順6、7と同様の手順で［日］と分単位まで時刻を合わせて、▶ を押す

- ［年月日］が点滅します。

9 ▲▼で［年月日］の表示順を選び、㊍ボタンを押す

- 設定が有効になり、モードセレクターで選んでいるモードの画面が表示されます。

☑ 夏時間の設定について

夏時間（サマータイム）が現在実施されている場合は、手順4の［ワールドタイム］画面で［夏時間］のチェックボックスをオン［✔］にしてから、現在の日時を設定します。

1 マルチセレクターの▶ を押す前に、▼を押して［夏時間］を選ぶ

2 ㊍ボタンを押して、チェックボックスをオン［✔］にする

- もう一度㊍ボタンを押すとチェックボックスをオフにできます。

3 ▲を押してから▶ を押し、手順5の画面に進む

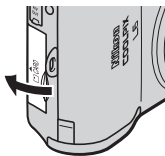
夏時間の期間が終了したときは、セットアップメニュー（📖90）の［日時設定］（📖93）で［ワールドタイム］を選び、［夏時間］のチェックボックスをオフにしてください。カメラの時刻が1時間戻ります。

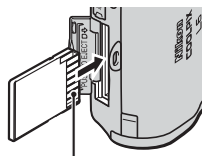
撮影の準備

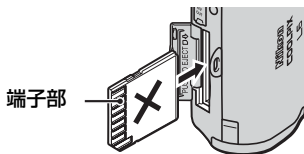
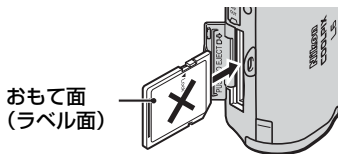
SDカードを入れる

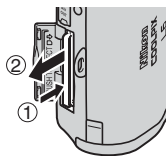
撮影した画像や録音した音声は、カメラの内蔵メモリー（約23MB）、または市販のSDカード（[icon]106）のどちらかに記録されます。

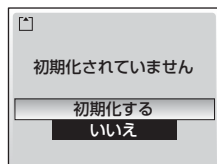
カメラにSDカードを入れると、SDカードに記録されます。SDカードが入っているときは、SDカードの画像のみ再生・削除・転送ができます。内蔵メモリーを使いたいときは、SDカードを取り出してください。

1 電源がOFFの状態であることを確認してから、SDカードカバーを開ける

2 SDカードを入れる

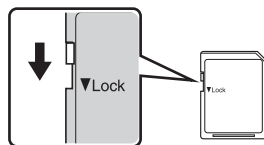
- SDカードを抜き差しするときは、必ず電源をOFFにしてください
- 右図のように正しい向きで、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 挿入後、SDカードカバーを閉めてください。

逆挿入注意

向きを間違えて入れると、カメラやSDカードが破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ず確認してから挿入してください。

SDカードを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターが消灯していることを確認してから、SDカードカバーを開けてください。カードを指で軽く奥に押し込んで離すと（①)、カードが押し出されるので（②）、まっすぐ引き抜いて取り出してください。

SDカードの初期化

電源をONにしたときに右の画面が表示された場合は、SDカードを初期化する必要があります。SDカードを初期化（101）すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。カード内に必要なデータが残っている場合は、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。
マルチセレクターの▲▼で[初期化する]を選び、OKボタンを押すと確認画面が表示されます。もう一度［初期化する］を選び、OKボタンを押すと初期化が始まります。

初期化中は、電源をOFFにしたり、電池やSDカードを取り出したりしないでください。
他の機器で使ったSDカードをCOOLPIX L6で初めて使う場合は、必ず［標準初期化］（101）をしてからお使いください。

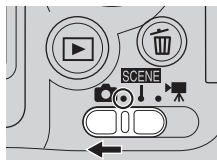
SDカードの書き込み禁止スイッチについてのご注意

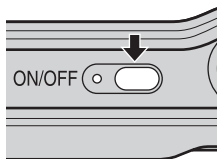
SDカードには、書き込み禁止スイッチが付いています。このスイッチを「Lock」の位置にすると、データの書き込みや消去が禁止され、カード内の画像を保護できます。撮影時や画像を削除するとき、カードを初期化するときは「Lock」を解除してください。

SDカードの取り扱い上のご注意

- SDカード以外のメモリーカードは使用できません。
- 初期化中や画像の記録・削除中、パソコンとの通信時などには、以下に注意してください。記録されているデータの破損やカードの故障の原因となります。
  - カードの着脱をしないでください
  - 電池を取り出さないでください
  - カメラの電源をOFFにしないでください
  - ACアダプターを外さないでください
- 分解や改造をしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 端子部を手や金属で触らないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たるところなどには置かないでください。
- 湿度の高いところやほこりが多いところ、腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。

ステップ1　モードセレクターを にセットして電源をONにする

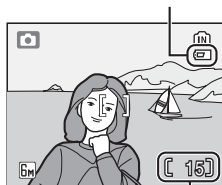
（オートモード）では、撮影状況に合わせて各機能が最適な状態に自動的に設定されるので、はじめてデジタルカメラをご使用になる方でも簡単に撮影することができます。

1　モードセレクターを に合わせる

2　電源をONにする

- 電源ランプ（緑）が一瞬点灯し、液晶モニターが点灯します。

3　電池残量と記録可能コマ数を確認する

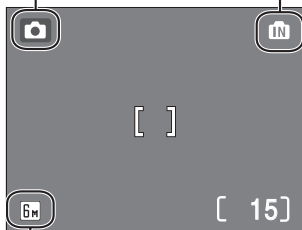
電池残量

モニター表示	内容
表示なし	電池は充分に残っています。
	電池が残り少なくなりました。電池交換の準備をしてください。
電池残量がありません	撮影できません。電池を交換してください。

バッテリーチェック

記録可能コマ数

記録可能コマ数

撮影できる残りのコマ数が表示されます。記録可能コマ数は内蔵メモリーまたはセットしているSDカードのメモリー残量と画像モードによって異なります。

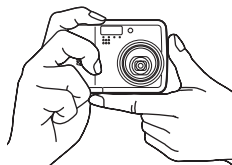
📷（オートモード）での液晶モニター表示

画像モード
撮影目的に応じて、5種類の画像が選択できます。初期設定は 6M 標準（2816 ×2112)です。

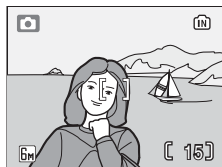
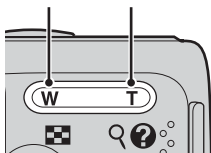
📷（オートモード）で使用可能な機能について

📷（オートモード）ではフラッシュ（24）、セルフタイマー（26）、およびマクロモード（27）の設定ができます。また、📷（オートモード）のときにMENUボタンを押すと、撮影メニューが表示され、画像モード（75）、ホワイトバランス（77）、露出補正（79）、連写（80）、BSS（81）、ピクチャーカラー（81）の各項目を、撮影状況に合わせて設定できます。

ステップ2　カメラを構え、構図を決める

1 カメラをしっかりと構える

- カメラを両手でしっかりと持ってください。レンズやフラッシュ、マイクなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。
- 縦位置で撮影するときは、フラッシュ発光部を上にしてください。

2 構図を決める

- 写したいもの（被写体）を画面の中央付近にとらえてください。

- **W**（▦）/**T**（Q）ボタンを押すと、光学ズームが作動して被写体の大きさを変えることができます。広い範囲を写したいときは**W**（▦）ボタンを、被写体を大きく写したいときは**T**（Q）ボタンを押してください。

- 光学ズームをもっとも望遠側にして、さらに**T**（Q）ボタンを約2秒以上押し続けると、電子ズームが作動し、光学ズームの最大倍率（約3倍）の約4倍（合計約12倍）まで拡大することができます。
ズームの量は画面上部で確認できます。

W（▦）/T（Q）ボタンを押すと、画面上部にズームの量が表示されます

光学ズームの最大倍率（約 3 倍）

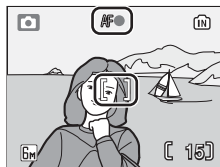
電子ズームが作動すると、表示が黄色に変わります

電子ズームについてのご注意

電子ズームは光学ズームとは違い、デジタル処理によって画像を拡大するため、粒子の粗い画像になります。

ステップ3　ピントを合わせてシャッターボタンを押す

1 シャッターボタンを半押しする

- AF（オートフォーカス）エリアの中央にある被写体に自動的にピントと露出が合います。
- ピントが合うと、AF表示が緑色に点灯します。AF表示が赤色点滅した場合は、ピントが合っていません。構図を変えてもう一度ピントを合わせてください。
- 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されません。

2 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む

- シャッターがきれ、画像が記録されます。
- 暗い場所で撮影するとフラッシュが発光する場合があります。

画像の記録についてのご注意

画面に⌛が表示されているときや、INまたは[▲]が点滅しているときは、画像の記録中です。SDカードや電池などを取り出さないでください。画像の記録中にSDカードや電池を取り出すと、画像が記録されなかったり、撮影した画像やカメラ、SDカードが壊れる場合があります。

シャッターボタンの半押し

シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しするとピントと露出が合い、そのまま深く押し込むと、シャッターがきれます。シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレ）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。

フォーカスロック撮影

構図を工夫して撮影したいときや、写したい被写体にピントが合いにくい※ときは、次のようにピントを固定（フォーカスロック）して撮影してください。

- フォーカスロックをしている間は被写体との距離を変えないでください。

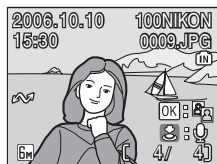
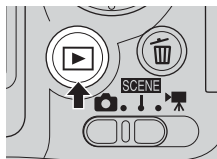
※オートフォーカスが苦手な次のような被写体を撮影するのに便利です。

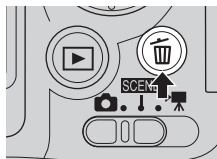
- 被写体が非常に暗い場合
- 画面内の輝度差が非常に大きい場合（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない場合（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）を撮影する場合
- 動きの速い被写体を撮影する場合

ステップ4　撮影した画像を確認する／削除する

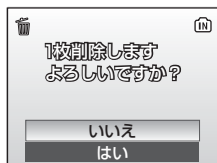
画像を確認する（1コマ再生モード）

▶ボタンを押す

- マルチセレクターの◀（または▲）で前の画像を、▶（または▼）で次の画像を見ることができます。ボタンを押し続けると、画像を早送りできます。
- マルチセレクターの使い方がわからないときは→8
- 前の画像や次の画像に切り換えた直後は、表示が粗くなる場合があります。
- 撮影に戻るには、もう一度▶ボタンを押します。

画像を削除する

1 削除したい画像を表示させて🗑ボタンを押す

2 マルチセレクターの▲▼で[はい]を選びⓀボタンを押す

- 削除するのをやめるときは、［いいえ］を選んでⓀボタンを押します。
- マルチセレクターの使い方がわからないときは→8

簡単な撮影と再生—📷（オートモード）を使う

1コマ再生モードで使える機能

1コマ再生モードでは次の機能が使えます。

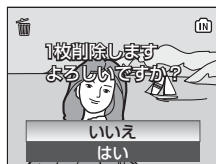
機能	ボタン	内容	
画像を拡大する	（T）	最大約10倍までの倍率に切り換えます。	43
サムネイル表示に切り換える	（W）	4コマまたは9コマのサムネイル画像を表示します。	42
音声メモを録音／再生する		最大20秒の音声を録音／再生します。	48
D-ライティング	（OK）	撮影した画像の暗い部分を明るく補正します。	45
再生メニューを表示する	MENU	MENU ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。	83
撮影のモードに切り換える		ボタンを押すと、モードセレクターで選択されている撮影のモードになります。	22

画像の再生について

- 電源がOFFのときに ボタンを1秒以上押し続けると、1コマ再生モードで電源をONにすることができます。
- 内蔵メモリーに記録した画像を再生したいときは、SD カードをカメラから取り出してください。

撮影モードで画像を削除する場合

撮影モードで ボタンを押すと削除の確認画面が表示され、最後に撮影した画像が削除できます。マルチセレクターの▲または▼で［はい］を選び、OK ボタンを押します。

- 削除するのをやめるときは、［いいえ］を選んでOK ボタンを押します。

フラッシュを使う

フラッシュの発光モードを撮影状況に合わせて設定できます。フラッシュの光が充分に届く距離は、広角側で約0.3～5.0 m、望遠側で約0.3～3.0 mです。

ϟAUTO	**自動発光（オートモードの初期設定）**
	暗い場所などで、自動的にフラッシュが発光します。
ϟ◎	**赤目軽減自動発光**
	人物撮影に適しており、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減できます（25）。
⊘	**発光禁止**
	フラッシュは発光しません。
ϟ	**強制発光**
	被写体の明るさに関係なく、必ずフラッシュが発光します。逆光で撮影するときなどに使います。
ϟ	**スローシンクロ**
	自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景をきれいに写せるので、夜景などの撮影に適しています。

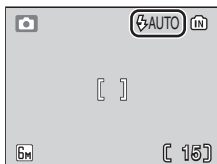
1 ϟ（フラッシュモード）ボタンを押す

- 液晶モニターにフラッシュモードの設定メニューが表示されます。

2 マルチセレクターの▲▼でモードを選び、OKボタンを押す

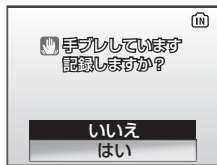
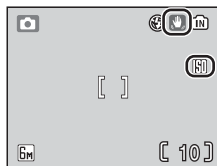
- OKボタンを押さないまま5秒以上経過すると、設定はキャンセルされます。
- マルチセレクターの使い方がわからないときは→8

3 設定が有効になる

- 設定したフラッシュモードが表示されます。
- ϟAUTOは設定後、5秒間表示され消灯します。
- （オートモード）で設定したフラッシュモードは、電源をOFFにしても記憶されます。

暗い場所で撮影するときのご注意

（発光禁止）にセットして暗い場所で撮影するときなどは、液晶モニターに（手ブレ警告表示）やISOと表示されることがあります。以下の点にご注意ください。

- 手ブレしやすくなるため、三脚などでカメラを固定して撮影してください。
- 撮影した画像が手ブレしている可能性が高いときは、右のような「手ブレお知らせ画面」が表示され、画像を記録するかどうかを選ぶことができます。

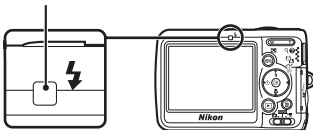
- ISOと表示されたときは、ISO感度が上がっているため、通常よりもざらついた画像になることがあります。
- 画像記録時に自動的にノイズ低減が行われる場合があります。画像の記録時間は通常より長くなります。

フラッシュ使用時のご注意

フラッシュを使用して撮影すると、フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して、画像の中に白い点のように写り込んでしまう場合があります。このような場合は、フラッシュモードを（発光禁止）にして撮影することをおすすめします。

フラッシュランプについて

シャッターボタン半押し時に、フラッシュの状態を確認できます。

- 点灯：撮影時にフラッシュが発光します。
- 点滅：フラッシュの充電中のため、撮影できません。
- 消灯：撮影時にフラッシュは発光しません。

フラッシュランプ

赤目軽減自動発光について

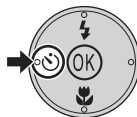
COOLPIX L6では、アドバンスト赤目軽減方式を採用しています。シャッターが切れる直前にフラッシュを小発光させて赤目現象の発生を抑えることに加え、カメラが赤目現象を検出すると赤目部分を画像補正して記録します。そのため、次のシャッターが切れるようになるまでの時間が通常より若干長くなります。ただし、次のような場合は、他のフラッシュモードで撮影してください。

- シャッターチャンスを優先する撮影にはおすすめできません
- 撮影状況によっては、望ましい結果が得られない場合があります
- ごくまれに赤目以外の部分が補正される場合があります

セルフタイマーを使う

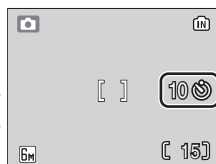
セルフタイマーを使用すると、シャッターボタンを押してから約10秒後に、自動的にシャッターがきれます。記念撮影など、自分も一緒に写りたいときは、セルフタイマーが便利です。セルフタイマー撮影時は、平らな場所に三脚などでカメラを固定してください。

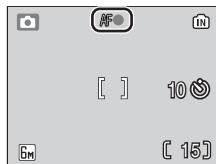
1 ⏲（セルフタイマー）ボタンを押す

- 液晶モニターにセルフタイマーの設定メニューが表示されます。

2 マルチセレクターの ▲▼ で［ON］を選び、Ⓚボタンを押す

- 10⏲が表示されます。
- Ⓚボタンを押さないまま5秒以上経過すると、設定はキャンセルされます。
- マルチセレクターの使い方がわからないときは→8

3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。

4 そのままシャッターボタンを押し込む

- セルフタイマーが作動し、セルフタイマーランプが点滅します。シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれるまでの秒数が液晶モニターに表示されます。
- セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。

マクロ（接写）モードを使う

最短約10cmまで被写体に近づいて撮影することができます。ただし、フラッシュ撮影時は、被写体から30cm 以上離れなければ、フラッシュの光が充分に行き渡らない場合がありますのでご注意ください。

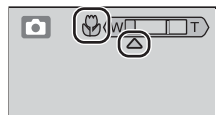
1 🌷（マクロモード）ボタンを押す

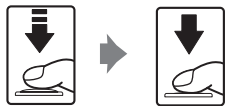
- 液晶モニターにマクロモードの設定メニューが表示されます。

2 マルチセレクターの ▲▼ で［ON］を選び、Ⓞ ボタンを押す

- 🌷マークが表示されます。
- Ⓞボタンを押さないまま5秒以上経過すると、設定はキャンセルされます。
- マルチセレクターの使い方がわからないときは →8

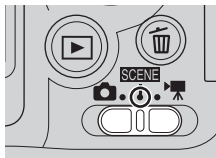
3 **T**（Q）または **W**（▦）ボタンを押して構図を決める

- 🌷マークが緑色で表示されているときは、レンズ前約10 cmの被写体にピントを合わせることができます。

4 ピントを合わせて撮影する

- 📷（オートモード）で設定したマクロモードの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

マクロモードについて

マクロモードでは、シャッターボタンの半押しでフォーカスロックされるまで、カメラは常にAF（オートフォーカス）によるピント合わせを繰り返します。

シーンモードについて

撮影シーンに合わせてシーンモードを選ぶだけの簡単な操作で、シーンに合った撮影ができます。

アシスト機能付きシーンモード（4種類）

画面に構図を決めるためのガイドが表示されるなど、撮影をお手伝いする「アシスト機能」が充実したモードです。

ポートレート

人物を際立たせたポートレート写真の撮影に適しています。

風景

風景の撮影や、風景をバックにした人物撮影に適しています。

スポーツ

運動会などのスポーツ写真の撮影に適した連写ができます。

夜景ポートレート

夜景をバックにした人物撮影に適しています。

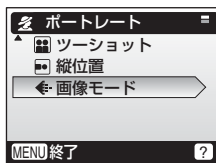
シーンモード（11種類）

シーンを選び、シャッターボタンを押すだけで簡単に、より被写体に適した画像が撮影できるモードです。音声だけを録音／再生できる［音声レコード］もシーンモードから選べます。

パーティー	夜景	モノクロコピー
海・雪	クローズアップ	逆光
夕焼け	ミュージアム	パノラマアシスト
トワイライト	打ち上げ花火	音声レコード※

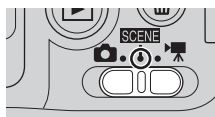
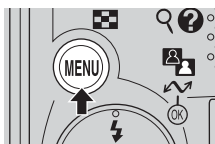
※「音声レコード機能を使う」（54）をご覧ください。

シーンモードでの画像モード設定

アシスト機能付きシーンモードのアシストメニューや［シーンメニュー］でも［画像モード］（75）を設定できます。
画像モードの設定は他のモードと連動しているため、どのモードで設定しても同じ設定になります。

アシスト機能付きシーンモード

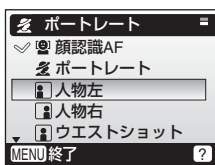
アシスト機能付きシーンモードでは、構図を決めるためのガイドが表示されるなど、さまざまなアシスト機能が撮影のお手伝いをします。

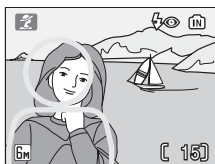
アシスト機能付きシーンモードで撮影するには

1 モードセレクターを SCENE に合わせる

2 MENU ボタンを押してシーンメニューを表示する

3 マルチセレクターの ▲▼ でアシスト機能付きシーンモードを選び、OK ボタンを押す

- アシストメニューが表示されます。
- マルチセレクターの使い方がわからないときは → 8

アシスト機能付きシーンモード

4 ▲▼でアシスト機能を選び、OK ボタンを押す

5 構図を決めて撮影する

- ガイドが表示されるモードでは、被写体をガイドに合わせて撮影します。

ポートレート

背景をぼかし、人物を際だたせた写真を撮影したいときに使います。人物の肌をなめらかで自然な感じに仕上げます。

顔認識AF

カメラが人物の顔を自動的に認識してピントを合わせます。撮影のしかたについては、「顔認識AFで撮影する」（31）をご覧ください。

ポートレート

ガイドは表示されず、画面中央にピントが合います。

人物左

人物の上半身をやや左に寄せて撮影するときに使います。ガイド内にピントが合います。

人物右

人物の上半身をやや右に寄せて撮影するときに使います。ガイド内にピントが合います。

ウエストショット

人物の上半身を撮影するときに使います。ガイド内にピントが合います。

ツーショット

2人並んだ人物の上半身を撮影するときに使います。ガイド内にピントが合います。

縦位置

人物を縦位置で撮影するときに使います。ガイド内にピントが合います。

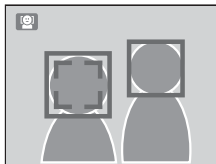
フラッシュ：	変更可能（初期設定：（赤目軽減自動発光））
セルフタイマー：	設定可能
マクロ：	OFFに固定

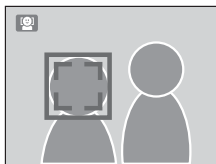
顔認識AFで撮影する

1 ポートレートのアシストメニューで、マルチセレクターの▲▼を押して［顔認識AF］を選び、OKボタンを押す

- 黄色のマークが点滅表示されます。

2 マークの大きさを目安に、人物の顔をとらえる

- カメラが顔を認識すると、マークが黄色の二重枠に変わります。
- 複数の顔を認識した場合は、最も近くにいる人の顔が二重枠で、他の顔が一重枠で示されます。この場合、二重枠で囲まれた人の顔にピントと露出が合います。途中で被写体が横を向くなどしてカメラが被写体を見失った場合は、枠が消えて手順1の状態に戻ります。

3 シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が固定され、二重枠が緑色に変わります。

4 そのままシャッターボタンを押し込んで撮影する

顔認識AF についてのご注意

- どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどの撮影条件によって異なります。
- カメラは人物の顔を認識するまでピント合わせを繰り返します。
- 二重枠が黄色点滅している場合は、顔にピントが合っていません。もう一度ピントを合わせてください。
- 顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。
- 次のような場合、カメラは人物の顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている。
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている。

風景

自然の風景や街並みなどを、色鮮やかに撮影したいときや、風景をバックにした人物撮影に使います。

	風景
	ガイドは表示されず、遠景にピントが合います。※
	山
	遠くの山並みを撮影するときに使います。遠景にピントが合います。※ 山の稜線が波形のガイドに重なるように構図を合わせます。
	建物
	建物を撮影するときに使います。遠景にピントが合います。※ 構図を合わせやすいように、格子状のガイドが表示されます。
	左背景
	背景を左に人物を右に配置した構図で撮影するときに使います。ガイド内の人物にピントと露出が合います。
	右背景
	背景を右に人物を左に配置した構図で撮影するときに使います。ガイド内の人物にピントと露出が合います。

フラッシュ：	**[風景]、[山]、[建物]：（発光禁止）に固定 [左背景]、[右背景]：変更可能 （初期設定：（自動発光））**
セルフタイマー：	**設定可能**
マクロ：	**OFFに固定**

※シャッターボタンを半押しすると、常にAF表示（20）が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。

スポーツ

運動会などスポーツ写真を撮影するときに使います。動きのある被写体の一瞬の動きを連写（連続撮影）によって鮮明にとらえます。このモードでは、ガイドは表示されません。

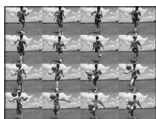
スポーツ

シャッターボタンを深く押し続けると、約1.7コマ／秒で連写できます。画像モードが標準（2816）の場合、連続で約10コマ撮影できます。
シャッターボタンの半押しでフォーカスロックされるまで、カメラは常にAF（オートフォーカス）によるピント合わせを繰り返します。

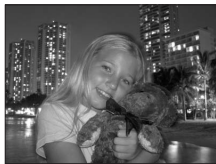
スポーツ観戦

光学ズームの最も広角側で約4.5m以上、最も望遠側で約6m以上離れた被写体にピントが合うように、ピントが固定されます。
シャッターボタンを深く押し込んでいる間、「スポーツ」と同様に連写できます。

スポーツマルチ連写

シャッターボタンを1回深く押し込むと、約2.3秒間で16コマの連続写真を撮影し、右のような1コマの画像（、画像サイズ1600×1200）として記録します。
シャッターボタンの半押しでフォーカスロックされるまで、カメラは常にAF（オートフォーカス）によるピント合わせを繰り返します。

フラッシュ：	（発光禁止）に固定
セルフタイマー：	OFFに固定
マクロ：	OFFに固定

夜景ポートレート

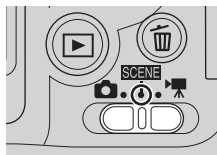
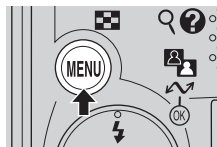
夕景や夜景をバックに人物を撮影するときに使います。人物と背景の両方を美しく表現します。アシスト機能は、［ポートレート］（30）と同様ですが、［顔認識AF］はありません。このモードで撮影するときは、手ブレを防ぐため、三脚や安定した台などでカメラを固定してください。

フラッシュ：	（赤目軽減スローシンクロ強制発光）に固定 （液晶モニターには が表示されます。）
セルフタイマー：	設定可能
マクロ：	OFFに固定

ノイズ低減

［夜景ポートレート］で撮影すると、画像の記録時に自動的にノイズ低減(25)が行われる場合があります。

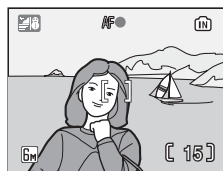
シーンモード

シーンモードで撮影するには

1 モードセレクターを SCENE に合わせる

2 MENU ボタンを押してシーンメニューを表示する

3 マルチセレクターの ▲▼ でシーンモードを選び、OK ボタンを押す

- ［パーティー］から［音声レコード］まで、3ページのメニューがあります。
- マルチセレクターの使い方がわからないときは → 8

シーンモード

4 構図を決めて撮影する

シーンモードの種類と特長

パーティー

パーティー会場などでの撮影に使います。キャンドルライトなどの背景をいかして、雰囲気のある画像に仕上げます。
- 画面中央にピントが合います。
- 暗い場所では手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。

フラッシュ：	**変更可能（初期設定：（赤目軽減自動発光））**
セルフタイマー：	**設定可能**
マクロ：	**OFFに固定**

海・雪

晴天の海や砂浜、雪景色などを明るく鮮やかに撮影したいときに使います。
- 画面中央にピントが合います。

フラッシュ：	**変更可能（初期設定：（自動発光））**
セルフタイマー：	**設定可能**
マクロ：	**OFFに固定**

夕焼け

赤い夕焼けや朝焼けの撮影に使います。
- 画面中央にピントが合います。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。

フラッシュ：	**変更可能（初期設定：（発光禁止））**
セルフタイマー：	**設定可能**
マクロ：	**OFFに固定**

トワイライト

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中での風景撮影に使います。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（20）が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- 手ブレしやすいため、カメラを三脚などで固定して撮影することをおすすめします。

フラッシュ：　（発光禁止）に固定
セルフタイマー：　設定可能
マクロ：　OFFに固定

夜景

夜景の撮影に使います。スローシャッターで夜景の雰囲気を表現します。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（20）が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- 手ブレしやすいため、カメラを三脚などで固定して撮影することをおすすめします。

フラッシュ：　（発光禁止）に固定
セルフタイマー：　設定可能
マクロ：　OFFに固定

クローズアップ

草花や昆虫、小さな被写体などの接写（近接撮影）に使います。

- シャッターボタンの半押しでピントが固定されるまで、カメラは常に画面中央にピントを合わせ続けます。
- 撮影方法はマクロモード（27）と同じです。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。

フラッシュ：　変更可能（初期設定：AUTO（自動発光））
セルフタイマー：　設定可能
マクロ：　ONに固定

ノイズ低減

[トワイライト] および [夜景] で撮影すると、画像の記録時に自動的にノイズ低減（25）が行われる場合があります。

🏛 ミュージアム

フラッシュ撮影が禁止されている美術館など、フラッシュを発光させたくない場所で撮影するときに使います。

- 画面中央にピントが合います。
- ［BSS］（☞81）が自動的に［ON］になります。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。

フラッシュ：	**（発光禁止）に固定**
セルフタイマー：	**設定可能**
マクロ：	**設定可能**

打ち上げ花火

スローシャッターで、打ち上げ花火をきれいに撮影できます。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（☞20）が点灯します。ただし、ピントは遠景に固定されるため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- 手ブレしやすいため、カメラを三脚などで固定して撮影することをおすすめします。

フラッシュ：	**（発光禁止）に固定**
セルフタイマー：	**OFFに固定**
マクロ：	**OFFに固定**

モノクロコピー

ホワイトボードや印刷物などの文字を、シャープに撮影したいときに使います。

- 画面中央にピントが合います。
- 近くのものを撮影するときは、マクロモード（☞27）を併用してください。
- 赤色、青色などの被写体を撮影すると、文字などが薄くなることがあります。

フラッシュ：	**変更可能（初期設定：（発光禁止））**
セルフタイマー：	**設定可能**
マクロ：	**設定可能**

逆光

逆光状態での撮影に使います。内蔵フラッシュが常に発光し、人物が影にならず美しく撮影できます。

- 画面中央にピントが合います。

フラッシュ：	（強制発光）に固定
セルフタイマー：	設定可能
マクロ：	OFFに固定

パノラマアシスト（40）

撮影した複数の画像をつなげて、パノラマ写真に合成したいときに使います。撮影した画像は、付属のソフトウェア「PictureProject」を使ってパソコンでパノラマ写真に合成できます。

フラッシュ：	変更可能（初期設定：（発光禁止））
セルフタイマー：	設定可能
マクロ：	設定可能

パノラマアシスト（39）を使った撮影方法

画面中央にピントが合います。三脚を使うと、構図を合わせやすくなります。

1 シーンモードの選択画面で、マルチセレクターの▲▼を押して［パノラマアシスト］を選び、OKボタンを押す

- パノラマ方向（画像をつなげる方向）を示す▷マークが黄色で表示されます。
- マルチセレクターの使い方がわからないときは→8

2 ▲▼◀▶ でパノラマ方向を選び、OKボタンを押す

- 選んだ方向に▷マークが移動し、OKボタンを押すと白色に変わります。
- フラッシュモード（24）、セルフタイマー（26）、マクロモード（27）を設定したい場合は、ここで設定してください。
- もう一度 OK ボタンを押すとパノラマ方向を選び直せます。

3 一番端の被写体に構図を合わせ、1コマ目を撮影する

- 画面の 1/3 に、撮影した画像が半透明に表示されます。

4 2コマ目以降を撮影する

- 次の被写体の 1/3 が前の絵柄に重なるように構図を合わせて、シャッターボタンを押してください。
- この手順を繰り返して、必要な画像を撮影してください。

5 必要な画像を撮影し終わったら、OK ボタンを押す

- 手順2の状態に戻ります。

パノラマアシストについてのご注意

フラッシュモード（24）、セルフタイマー（26）、マクロモード（27）は、1コマ目を撮影する前に設定してください。2コマ目以降はすべて同じ設定で撮影されます。撮影開始後に設定を変えることはできません。画像モード（75）の変更やズーム操作、画像の削除もできません。

AE-Lについて

パノラマアシストモードでは、1コマ目を撮影すると、画面にAE-L（白色）と表示されます。これは、露出とホワイトバランスがロック（固定）されたことを示しています。これによってパノラマ写真を構成するすべての画像を、同じ露出とホワイトバランスで撮影できます。

複数の画像を一覧表示する（サムネイル表示モード）

1コマ再生モード（22）で（W）ボタンを押すと、画像を4コマまたは9コマずつ一覧できる「サムネイル表示モード」になります。サムネイル表示モードでは、以下の操作ができます。

機能	ボタン	内容	
画像を選ぶ		マルチセレクターの▲▼◀▶で画像を選びます。	8
表示コマ数を変更する	W T	4コマ表示のときに（W）ボタンを押すと、9コマ表示になります。9コマ表示のときに（T）ボタンを押すと、4コマ表示になります。4コマ表示のときに（T）ボタンを押すと1コマ再生モードになります。	–
1コマ再生モードに切り換える	OK	OKボタンを押すと、1コマ再生モードに戻ります。	–
画像を削除する		画像を選び、ボタンを押すと削除確認画面が表示されます。[はい] を選んでOKボタンを押すと、選択していた画像が削除されます。	22
再生メニューを表示する	MENU	MENUボタンを押すと、再生メニューが表示されます。	83
撮影のモードに切り換える	▶	▶ボタンを押すと、モードセレクターで選択されている撮影のモードになります。	22

画像を拡大する

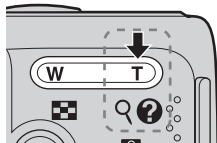
1コマ再生モード（🔖22）で 🔍（**T**）ボタンを押すと、表示中の画像を拡大表示できます（動画やスモールピクチャーの画像は拡大表示できません）。拡大中は画面に拡大率が表示されます。拡大表示中には、以下の操作ができます。

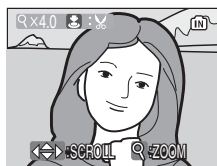
機能	ボタン	内容	🔖
拡大倍率を上げる	🔍（**T**）	🔍（**T**）ボタンを押すごとに、表示中の画像を最大約10倍まで拡大して表示できます。拡大表示中は拡大倍率が液晶モニターの左上に表示されます。	–
拡大倍率を下げる	▦（**W**）	拡大表示中に▦（**W**）ボタンを押すと、拡大倍率が下がります。もとの1コマ再生モードと同じ拡大倍率まで下がると、拡大表示はキャンセルされます。	–
画像の他の部分を表示する	マルチセレクター	マルチセレクターの▲▼◀▶ を押すと、画像をスクロールさせて、見たい部分に移動できます。	8
トリミング画像を作成する	シャッターボタン	シャッターボタンを押すと、画像を表示部分のみにトリミングできます。	44
1コマ再生モードに戻る	OK	OKボタンを押すと、1コマ再生モードに戻ります。	–
画像を削除する	🗑	🗑ボタンを押すと削除確認画面が表示されます。［はい］を選んでOKボタンを押すと、表示中の画像が削除されます。	22
再生メニューを表示する	MENU	MENUボタンを押すと、再生メニューが表示されます。	83
撮影のモードに切り換える	▶	▶ボタンを押すと、モードセレクターで選択されている撮影のモードになります。	22

画像を編集する

画像の一部を切り抜く（トリミング）

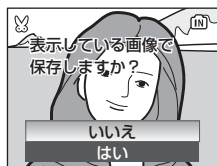
拡大表示（43）中に:マークが表示されている画像は、液晶モニターに表示している部分だけにトリミング（切り抜き）できます。トリミングした画像は、撮影した画像とは別に保存されます。

1 1コマ再生モード（22）で（**T**）ボタンを押して画像を拡大表示する

2 切り抜きたい部分だけが液晶モニターに表示されるように、表示範囲を調節する

- （**T**）ボタンまたは（**W**）ボタンを押して拡大率を調節します。
- マルチセレクターの ▲▼◀▶ で表示部分を移動します。
- マルチセレクターの使い方がわからないときは→8

3 シャッターボタンを押す

- 確認画面が表示されます。

4 ▲▼で［はい］を選び、ボタンを押す

- トリミング画像が作成されます。

- トリミングで作成された画像の画像サイズは、拡大倍率により異なります。次のうちから最適なものをカメラが自動的に選択します（単位：ピクセル）。

  - ・2592×1944
  - ・2048×1536
  - ・1600×1200
  - ・1280×960
  - ・1024×768
  - ・640×480
  - ・320×240
  - ・160×120

再生機能を使いこなす

画像の暗い部分を明るく補正する（D-ライティング）

逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を、明るく補正することができます。補正した画像は、撮影した画像とは別に保存されます。

1 1コマ再生モード（22）で画像を選び、（）ボタンを押す

- 自動補正できる画像には、:（D-ライティングガイド）が表示されます。
- 液晶モニターに補正前（左側）と補正後（右側）の見本が表示されます。

2 マルチセレクターの▲▼で［実行］を選び、ボタンを押す

- 補正画像が作成されます。
- キャンセルするときは、［キャンセル］を選びボタンを押します。
- マルチセレクターの使い方がわからないときは→8
- D-ライティングを行った画像は、再生時の画面でが表示されます。

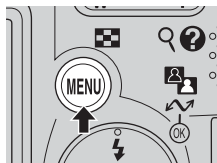
再生機能を使いこなす

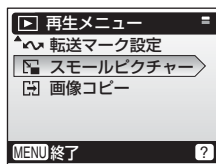
サイズの小さい画像に編集する（スモールピクチャー）

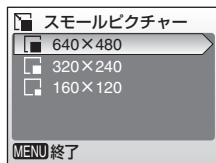
撮影した画像から、サイズの小さい画像を新しく作ります。作成するスモールピクチャーの大きさは以下の3種類から選べます。スモールピクチャーは、撮影した画像とは別の画像（圧縮率約1/16）で保存されます。

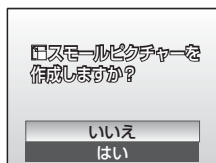
640×480	テレビでの表示に適しています。
320×240	ホームページでの使用に適しています。
160×120	電子メールへの添付に適しています。

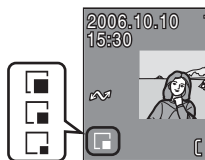
1 1コマ再生モード（22）で画像を選び、MENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 マルチセレクターの ▲▼ で［スモールピクチャー］を選び、OKボタンを押す

- スモールピクチャーのメニューが表示されます。
- マルチセレクターの使い方がわからないときは→8

3 ▲▼で作成するスモールピクチャーのサイズを選び、OKボタンを押す

- 確認画面が表示されます。
- 作成をやめるときは、MENUボタンを押します。

4 ▲▼で［はい］を選び、OKボタンを押す

- スモールピクチャーが作成されます。

再生機能を使いこなす

スモールピクチャーは、再生時にグレーの枠が付き、画像サイズを示すマーク（、、）が表示されます。

画像編集の制限

画像編集（トリミング：44、D-ライティング：45、スモールピクチャー：46）には、以下のような制限があります。

- トリミングやスモールピクチャーで作成された画像に対して、再度画像編集はできません。
- D-ライティングで作成された画像に対して、再度D-ライティングを行うことはできません。

画像編集を適用する際のご注意

- COOLPIX L6以外で撮影された画像は、COOLPIX L6で再生、編集できない場合があります。
- COOLPIX L6で編集した画像を、COOLPIX L6以外のデジタルカメラで再生すると、正常に表示できない場合やパソコンへの転送ができない場合があります。
- 内蔵メモリー／SD カードに充分な空き容量がない場合、編集できません。

元画像と編集画像の関係について

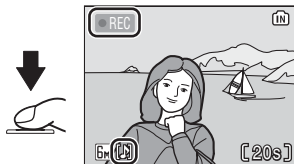
- 編集で作成した画像は、元画像を削除しても削除されません。また編集で作成した画像を削除しても、元画像は削除されません。
- 編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。
- ［プリント指定］（72）を行ったり、［プロテクト設定］（87）された画像を編集しても、これらの設定内容は編集先の画像には反映されません。ただし、［転送マーク設定］（88）がONの画像を編集したときは、編集先の画像にも設定が反映され［転送マーク設定］がONになります。

画像に音声メモを付ける

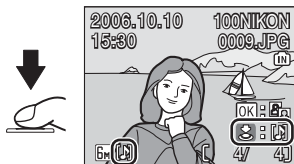
１コマ再生モード（22）で :マーク（音声メモ録音ガイド）が表示されている画像には、カメラのマイクを使って、音声によるメモを付けることができます。

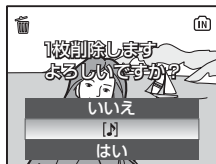
音声メモを録音するには

シャッターボタンを深く押し込んでいる間、約20秒まで音声メモが録音できます。シャッターボタンから指をはなすか、約20秒経過すると、録音が終了します。

- 録音中はカメラのマイクに触れないようご注意ください。
- 録音中は REC と[♪]が点滅します。

音声メモを再生するには

音声メモが録音された画像を1コマ再生して、シャッターボタンを深く押し込むと音声メモが再生されます。再生が終わるか、もう一度シャッターボタンを深く押し込むと再生が終了します。

- 音声メモ付きの画像には ：[♪]（音声メモ再生ガイド）と[♪]が表示されます。
- 再生中、**W**（ ）ボタンもしくは**T**（ ）ボタンを押して音量を調整します。

音声メモを削除するには

音声メモが録音された画像を選択して ボタンを押します。「[♪]」を選んで ボタンを押すと、音声メモのみが削除されます。

音声メモについてのご注意

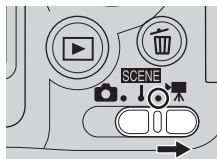
- 音声メモのファイル名は、音声メモを録音した画像と同じファイル名に、音声メモであることを示す拡張子「.WAV」がつきます（例：DSCN0015.WAV）（107）。
- すでに音声メモが録音されている画像には、音声メモを録音できません。音声メモだけを削除してから、もう一度音声メモを録音してください。

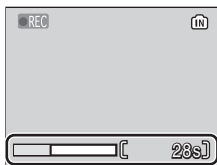
再生機能を使いこなす

動画を撮影する

動画（音声付き）を撮影できます。

1 モードセレクターを🎥に合わせる

- 液晶モニターに記録できる時間が表示されます。

2 シャッターボタンを押して、撮影を開始する

- 画面下部で、記録できる残り時間の目安を確認できます。
- もう一度シャッターボタンを押すと、撮影が終了します。
- 内蔵メモリーまたはSD カードの残量がなくなると、撮影は自動的に終了します。

動画撮影についてのご注意

- 動画モードでは、フラッシュ（🔍24）やセルフタイマー（🔍26）は使用できません。マクロモード（🔍27）は動画撮影時も使用できます。
- 動画撮影中、電子ズームは約2倍まで作動しますが、光学ズームは使用できません。光学ズームを使用したい場合は、撮影前に操作してください。撮影を始めると、光学ズームは固定されます。

動画撮影の設定を変更する

動画設定とAF-MODEを変更できます（🔍50、51）。

動画撮影の設定を変更する（動画メニュー）

動画設定

動画メニューでは撮影する動画の種類を以下の5種類から選ぶことができます。

種類	内容	記録可能時間※1	
		内蔵メモリー	SDカード
		約23MB	256MB
TV再生 640★	動画を画像サイズ640×480ピクセル、30フレーム/秒で撮影します。「TV再生640」と比べて、より動きのなめらかな動画を撮影できます。	20秒	約3分30秒※2
TV再生 640	動画を画像サイズ640×480ピクセル、15フレーム/秒で撮影します。	41秒	約7分
カメラ再生 320★	動画を画像サイズ320×240ピクセル、30フレーム/秒で撮影します。「カメラ再生320」と比べて、より動きのなめらかな動画を撮影できます。	41秒	約7分
カメラ再生 320（初期設定）	動画を画像サイズ320×240ピクセル、15フレーム/秒で撮影します。	1分21秒	約13分40秒
長時間再生 160	動画を画像サイズ160×120ピクセル、15フレーム/秒で撮影します。画像サイズが小さいため、他の動画と比べて、より長時間の撮影が可能となります。	4分28秒	約45分30秒

※1 記載されている記録可能時間はおおよその目安です。SDカードをご使用の場合、同じ容量でもSD カードの種類によって記録可能時間は異なります。
※2 ［TV再生640★］で撮影する場合は、パッケージなどに「10MB/s」と記載している高速タイプのSDカードを使用すると、容量いっぱいまで連続で撮影できます。

動画を撮影する／再生する

動画のファイル名とフォルダ名について

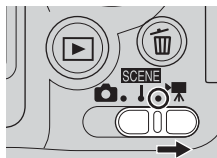
「記録データのファイル名とフォルダ名」（107）をご覧ください。

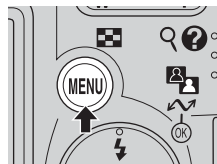
AF-MODE

動画メニューでは、動画撮影時のオートフォーカスの方法（AF-MODE）を以下の2種類から選ぶことができます。

種類	内容
シングルAF（初期設定）	シャッターボタンを半押しするとピント合わせを行い、半押ししている間はピントを固定（AF ロック）します。撮影を開始すると、シャッターボタンを押し込んだときのピントに固定され、撮影中はピント合わせを行いません。
常時AF	撮影中、常にピント合わせを繰り返します。 撮影中にカメラの動作音が録音されることがあります。動作音が気になる場合は、シングルAF に設定して撮影することをおすすめします。

動画設定／AF-MODEを設定する

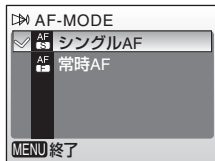
1 モードセレクターを動画に合わせる

2 MENUボタンを押す

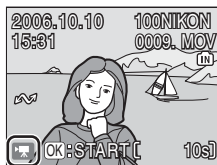
- 動画メニューが表示されます。

3 マルチセレクターの▲▼で［動画設定］または［AF-MODE］を選び、OKボタンを押す

- ［動画設定］または［AF-MODE］の設定画面が表示されます。
- マルチセレクターの使い方がわからないときは→8

動画を撮影する／再生する

4 ▲▼で設定したいモードを選び、ⓚボタンを押す

- 設定が有効になり、動画メニューに戻ります。
- MENUボタンを押して動画メニューを終了します。

動画を再生する

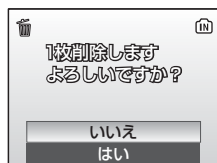
1 コマ再生モード（🕮22）で🎥マークが表示されている画像が動画です。OK ボタンを押すと、再生できます。

動画の再生中は、**W**（▦）/**T**（🔍）ボタンで音量を調節できます。また、画面上部に操作パネルが表示されます。マルチセレクターの◀▶ で、アイコンを選び OK を押すと、以下の操作ができます。
マルチセレクターの使い方がわからないときは→🕮8

動画再生中

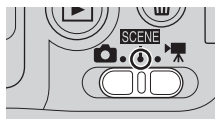
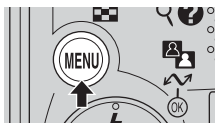
音量表示

機能	アイコン	内容	
巻き戻し	◀◀	OK ボタンを押している間、巻き戻します。	
早送り	▶▶	OK ボタンを押している間、早送りします。	
一時停止	❚❚	OK ボタンを押すと、一時停止します。 一時停止中には、以下の操作ができます。	
		◀❚❚	OK ボタンを押すと、1コマ戻ります。
		❚❚▶	OK ボタンを押すと、1コマ進みます。
		▶	OK ボタンを押すと、再生を再開します。
		■	OK ボタンを押すと、1コマ再生モードに戻ります。
再生終了	■	OK ボタンを押すと、1コマ再生モードに戻ります。	

動画ファイルを削除する

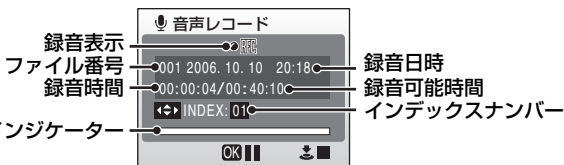
1 コマ再生モード（🕮22）やサムネイル表示モード（🕮42）で動画を表示しているときに🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。［はい］を選んで OK ボタンを押すと、動画ファイルが削除されます。キャンセルするときは、［いいえ］を選んで OK ボタンを押します。

音声を録音する

内蔵メモリーまたはSD カードに音声のみを録音することができます。
内蔵メモリーには約50 分、SD カード（256MB以上）には最長約5 時間録音できます。

1 モードセレクターを SCENE に合わせる

2 MENU ボタンを押してシーンメニューを表示する

3 マルチセレクターの▲▼で［音声レコード］を選び、OK ボタンを押す

- 日時および録音可能な時間が表示されます。
- マルチセレクターの使い方がわからないときは→ 8

4 シャッターボタンを押して録音を開始する

- 録音を一時停止したいときはを OK ボタンを押します。もう一度押すと再開します。
- もう一度シャッターボタンを押すと、録音が終了します。
- 内蔵メモリーまたはSDカードの記録容量がなくなった場合（256MB以上のSDカードで5 時間経過）、録音は自動的に終了します。

音声レコードについてのご注意

- 音声の録音中はカメラのマイクに触れないようにご注意ください。
- 内蔵メモリ／SD カードに10 秒以上録音できる容量がない場合や、電池の容量が少ない場合には、表示された録音可能時間いっぱいまで録音できないことがあります。ただし、終了するまでに録音された音声データは記録されます。
- 長時間音声を録音する場合は、別売のAC アダプターキットEH-65A（106）のご使用をおすすめします。
- 音声を録音する前に試し録音を行い、録音状態を確認することをおすすめします。

音声レコード中の液晶モニターについて

音声レコード中、なにも操作しないで5秒経過すると、電池の消耗を抑えるために液晶モニターが消灯します。液晶モニターが消灯している間も、以下の操作ができます。

- マルチセレクターの▲、▼、◀、または▶ を押してインデックスをつける
- ⓚボタンを押して録音を一時停止する／再開する
- シャッターボタンを押して録音を終了する

液晶モニター消灯中に、シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターが5秒間点灯します。

録音した音声のファイル名とフォルダ名について

「記録したデータのファイル名とフォルダ名」（107）をご覧ください。

インデックス

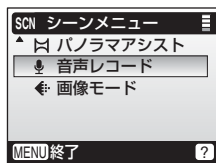
録音中にマルチセレクターの▲、▼、◀、または▶ を押すと、インデックスが付けられます。インデックスを付けると、カメラで音声を再生するときに頭出しをすることができます。インデックスナンバーは録音の開始時点を1 とし、マルチセレクターを押すたびに連番で記録されます。最大で98のインデックスを付けることができます。

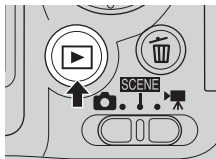
インデックスナンバーは［音声レコード］画面で確認することができます。

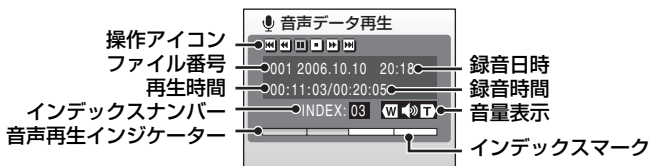
インデックスナンバー

音声を再生する

1 シーンモードの選択画面で、マルチセレクターの▲▼を押して［🎙音声レコード］を選び、Ⓞボタンを押す

- ［音声レコード］画面が表示されます。
- マルチセレクターの使い方がわからないときは→ 8

2 ▶ボタンを押す

- 保存されている音声データが一覧で表示されます。

3 ▲▼で再生したい音声データを選び、Ⓞボタンを押す

- ［音声データ再生］画面が表示され、再生が始まります。
- インデックスマークは、録音時に付けたインデックスの場所を示します。
- マルチセレクターの使い方がわからないときは→ 8

音声データの再生中は、**W**（▦）/**T**（Q）ボタンで音量を調節できます。また、画面上部に操作パネルが表示されます。マルチセレクターの◀▶でアイコンを選びⓀボタンを押すと、以下の操作ができます。

機能	アイコン	内容
一時停止	⏸	Ⓚボタンを押すと、一時停止します。
再生再開	▶	一時停止中に▶アイコンを選び、Ⓚボタンを押すと、再生を再開します。
巻き戻し	⏪	Ⓚボタンを押している間、巻き戻します。
早送り	⏩	Ⓚボタンを押している間、早送りします。
前のインデックスに戻る	⏮	Ⓚボタンを押すと、前のインデックスに戻ります。
次のインデックスに進む	⏭	Ⓚボタンを押すと、次のインデックスに進みます。
再生終了	■	Ⓚボタンを押すと、音声データの一覧画面に戻ります。

音声データをパソコンに保存する際のご注意

- 音声レコード機能により録音された音声データ（.WAV）は、付属のソフトウェア「PictureProject」ではパソコンに転送できません。セットアップメニューの［インターフェース］→［USB］を［Mass Storage］に設定して、直接パソコンにコピーしてください（102）。
- パソコンに保存された音声データ（.WAV）は、WAV ファイル対応のプレーヤー（QuickTime など）で再生することができます。「PictureProject」では再生できません。
- 音声録音中に付けたインデックスはカメラで再生する場合のみ使用できます。パソコンで再生する場合はインデックスなしの音声データとなります。

音声録音に切りかえるには

音声データの一覧表示中に▶ボタンを押すと、［音声レコード］画面になります。

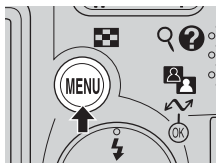
音声データを削除するには

音声の再生中に🗑ボタンを押すか、一覧表示中に▲▼で、削除したい音声データを選んで🗑ボタンを押すと削除確認画面が表示されます。「はい」を選んでⓀボタンを押すと、音声データが削除されます。削除するのをやめるときは、「いいえ」を選んでⓀボタンを押します。

音声データをコピーする

内蔵メモリーの音声をSD カードへ、またはSD カードの音声を内蔵メモリーへコピーできます。この操作は、カメラにSD カードが入っているときのみ行えます。音声データをコピーするには、まず「音声を再生する」（56）の手順 1、2を行い、［音声データ選択］画面を表示させてください。

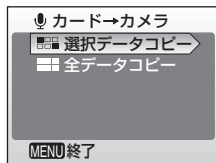
1 MENU ボタンを押す

- ［音声データコピー］画面が表示されます。

2 マルチセレクターの ▲▼ でコピーの方向を選び、OK ボタンを押す

- IN→SD：内蔵メモリーからSDカードへコピーします。
  SD→IN：SDカードから内蔵メモリーへコピーします。
- マルチセレクターの使い方がわからないときは→8

音声レコード機能を使う

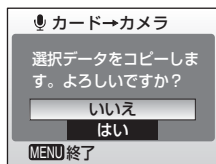
3 ▲▼でコピーの方法を選び、Ⓚボタンを押す

- [選択データコピー]：
  音声データを選んでからコピーします。手順4へお進みください。
- [全データコピー]：
  すべての音声データをコピーします。手順6へお進みください。
- 手順3で[カード]→[内蔵]を選んだ場合は右の画面が表示されます。[内蔵]→[カード]を選んだ場合は、[カメラ→カード]画面が表示されます。

4 コピーしたい音声データを選び、▶ を押す

- 選択した音声データには✔がつきます。
- この操作を繰り返してコピーする音声データを選びます。
- 設定を取り消すときは、取り消したい音声データを選んで、もう一度▶ を押します。✔が消えます。

5 Ⓚボタンを押す

6 ▲▼で［はい］を選び、Ⓚボタンを押す

- コピーが実行されます。キャンセルする場合は[いいえ］を選んでⓀボタンを押してください。
- 手順４で［選択データコピー］を選んだ場合は右の画面が表示されます。[全データコピー］を選んだ場合は、[全データをコピーします　よろしいですか？］と表示されます。

音声データコピーについてのご注意

- コピー先のメモリー容量が足りない場合には、「メモリー残量がありません」(112) というメッセージが表示され、コピーが中止されます。コピー先に収まり切らなかった音声データはコピーされません。不要な画像や音声を削除したり、新しいSD カードに交換する(コピー先がSD カードの場合)などの対処をしてから音声データコピーを行ってください。
- 他社製のカメラで録音した音声データやパソコンで編集した音声データのコピーはできません。

撮影した画像をより楽しむために、カメラをテレビ、パソコンまたはプリンターに接続できます。

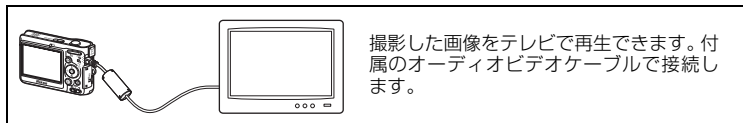
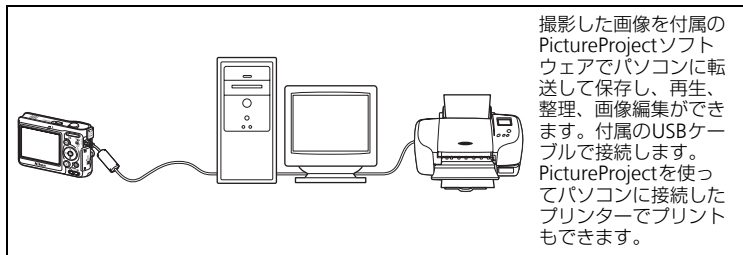
テレビに接続する（61）

撮影した画像をテレビで再生できます。付属のオーディオビデオケーブルで接続します。

パソコンに接続する（62）

撮影した画像を付属のPictureProjectソフトウェアでパソコンに転送して保存し、再生、整理、画像編集ができます。付属のUSBケーブルで接続します。PictureProjectを使ってパソコンに接続したプリンターでプリントもできます。

プリンターに接続する（66）

PictBridge対応プリンターに、直接カメラを接続してダイレクトプリントできます。付属のUSBケーブルで接続します。

電源についてのご注意

テレビやパソコン、プリンターなどと接続するときは、途中で電池が切れることがないように、充分に残量のある電池または別売のACアダプターキットEH-65Aをお使いください。

内蔵メモリーの画像を再生、転送、プリントする

カメラをテレビに接続して内蔵メモリーの画像を再生したり、パソコンに接続して転送したり、プリンタに接続してダイレクトプリントするときは、SDカードをカメラから取り出してください。

画像のプリント方法について

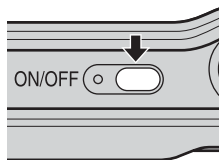
SDカードに記録した画像は、パソコンに転送したり、カメラをプリンターに接続してプリントする他に次の方法でプリントできます。

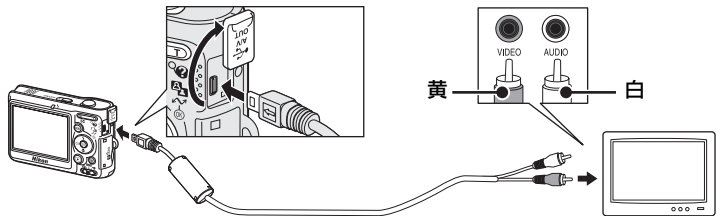
- カードスロットが付いたDPOF対応プリンターでプリントする。
- プリントサービス店にプリントを依頼する。

これらの方法でプリントするときは、プリントする画像やプリント枚数などを、カメラの［プリント指定］メニューを使って、あらかじめSDカードに設定できます（72）。

テレビに接続する

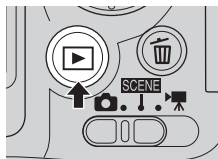
カメラを付属のオーディオビデオケーブル（AVケーブル）でテレビに接続すると、撮影した画像をテレビ画面で再生できます。

1 カメラの電源をOFFにする

2 付属のAVケーブルで、カメラとテレビを接続する

- AVケーブルの黄色のプラグをテレビの映像入力端子に、白のプラグを音声入力端子に接続してください。

3 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの使用説明書をご覧ください。

4 カメラの ▶ ボタンを1秒以上押して電源をONにする

- カメラは再生モードになり、撮影した画像がテレビに表示されます。
- テレビとの接続中は、カメラの液晶モニターは消灯したままになります。

ケーブル接続時のご注意

- ケーブルを接続するときは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- ケーブルの端子で端子カバーをはさまないようにご注意ください。

画像がテレビに映らないとき

［セットアップ］メニュー（90）→［インターフェース］（102）→［ビデオ出力］がお使いのテレビに合っているか確認してください。

パソコンに接続する

付属のUSBケーブルとPictureProjectソフトウェアを使って、カメラをパソコンに接続すると、撮影した画像をパソコンに転送して保存できます。

カメラとパソコンを接続する前に

PictureProjectをインストールする

カメラとパソコンを接続する前に、付属のPictureProjectソフトウェア（CD-ROM）をパソコンにインストールします。PictureProjectのインストール方法については、簡単操作ガイドをご覧ください。

USB通信方式を確認する

カメラからパソコンへ画像を転送するには、2つの方法があります。

- パソコン上のPictureProjectを操作して転送する
- カメラのOK（転送〜）ボタンを押して転送マーク付き画像を転送する

お使いのパソコンのOS（オペレーティングシステム）および、カメラとパソコンのUSB通信方式の組み合わせによって、転送できる方法が次のように異なります。

OS	USB通信方式※1	
	カメラのOKボタンで転送する※2	PictureProjectの［転送］ボタンで転送する
Windows XP Home Edition Windows XP Professional	Mass StorageまたはPTP	
Windows 2000 Professional※3	Mass Storage	
Mac OS X （10.3.9以降）	PTP	Mass StorageまたはPTP

※1 このカメラのUSB通信方式には、［Mass Storage］（初期設定）と［PTP］があります。

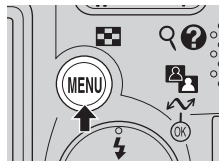
※2 次の場合、カメラのOK（転送〜）ボタンは使用できません。PictureProjectの［転送］ボタンで転送してください。

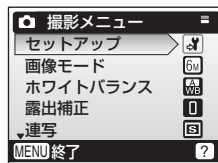
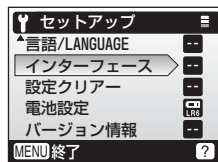
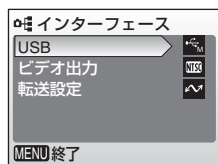
- ［USB］の設定が［Mass Storage］になっているときに内蔵メモリーの画像を転送する場合
- SDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」の位置になっている場合（「Lock」を解除するとカメラのOK（転送〜）ボタンを使用できます。）

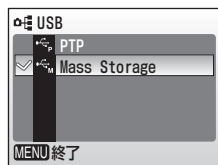
※3 パソコンのOSがWindows 2000 Professionalの場合は、カメラのUSB通信方式を必ず［Mass Storage］に設定してください。USB通信方式を［PTP］にして接続してしまった場合は、パソコンに［新しいハードウェアの検索ウィザードの開始］と表示されますので、［キャンセル（中止）］を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

USB通信方式の設定方法

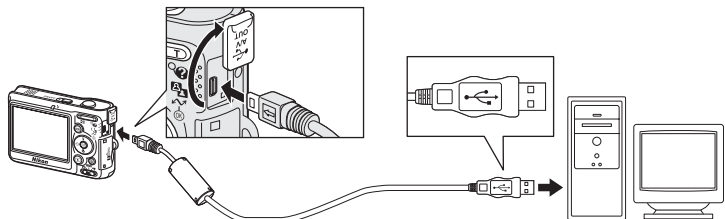
USB通信方式は、パソコンやプリンターと接続する前にカメラのセットアップメニュー（🔍102）で設定します。

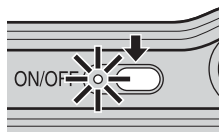
1 MENUボタンを押す

2 マルチセレクターの▲▼で［セットアップ］を選び、Ⓚボタンを押す

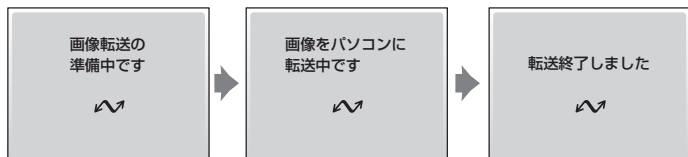
- セットアップメニューが表示されます。
- マルチセレクターの使い方がわからないときは→🔍8

3 ▲▼で［インターフェース］を選び、Ⓚボタンを押す

4 ▲▼で［USB］を選び、Ⓚボタンを押す

5 ▲▼で［PTP］または［Mass Storage］を選び、Ⓚボタンを押す

- 設定が有効になります。
- MENUボタンを押すと設定を終了します。

カメラからパソコンに画像を転送する

1 PictureProjectがインストールされているパソコンを起動する

2 カメラの電源をOFFにして、付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続する

3 カメラの電源をONにする

- パソコンで［PictureProject Transfer］が自動的に起動します（PictureProjectの初期設定）。

4 画像を転送する

- **PictureProjectを操作して転送する方法：**
  パソコンを操作して、PictureProject Transferの［転送］ボタンをクリックします。
  記録されているすべての画像がパソコンに転送されます。転送が終了すると、PictureProjectに転送した画像が表示されます。
- **カメラのⓚ（転送）ボタンを押して転送する方法：**
  カメラのⓚ（転送）ボタンを押すと、転送マーク（）（65）の付いている画像がパソコンに転送されます。転送が始まるとカメラの液晶モニターには、次のように表示されます。

ケーブル接続時のご注意

- ケーブルを接続するときは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- ケーブルの端子で端子カバーをはさまないようにご注意ください。

5 転送が終わったら、カメラとパソコンの接続を外す

- **USB通信方式が［PTP］の場合**：カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜きます。
- **USB通信方式が［Mass Storage］の場合**：USBケーブルを外したり、カメラの電源をOFFにする前に、必ず次の操作を行ってください。次の操作を行った後は、カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜きます。

Windows XP Home Edition/Windows XP Professionalの場合：

パソコン画面右下の［ハードウェアの安全な取り外し］アイコンをクリックして、［USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）※を安全に取り外します］を選んでください。

Windows 2000 Professionalの場合：

パソコン画面右下の［ハードウェアの安全な取り外しまたは取り出し］アイコンをクリックして、［USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）※を停止します］を選んでください。

※ドライブ（E:）の「E」は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

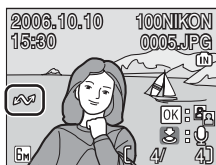
Mac OS Xの場合：

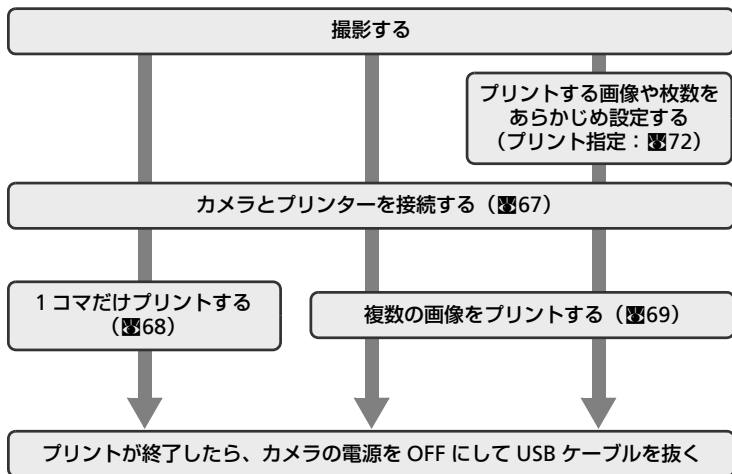
デスクトップ上の［NO NAME］アイコンをゴミ箱に捨ててください。

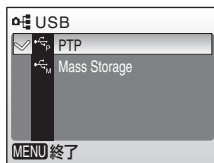
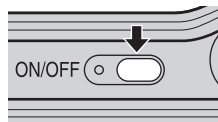
テレビやパソコン、プリンターに接続する

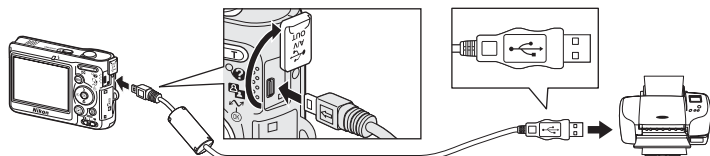
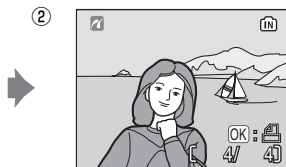
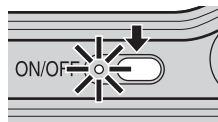
転送マーク（）について

再生時にマークが付いている画像は、パソコンとの接続時にⓚボタンを押すと、パソコンに転送されます。初期設定ではすべての画像に転送マークが付きます。転送マークを付けたり外したりするには、以下の2通りの方法があります。

- セットアップメニューの［インターフェース］→［転送設定］（102）
  ONにすると、**これから撮影する画像すべて**に、転送マークを付けます（初期設定）。
- 再生メニューの［転送マーク設定］（88）
  撮影済みの画像に、個別に転送マークを付けたり外したりできます。

プリンターに接続する

PictBridge（🔍121）対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントすることができます（ダイレクトプリント）。ダイレクトプリントの手順は、以下のとおりです。

カメラとプリンターを接続する

1 カメラのUSB通信方式（63）を［PTP］に設定する

2 カメラの電源をOFFにする

3 プリンターの電源をONにする
- プリンターの設定を確認してください。

4 付属のUSBケーブルで、カメラとプリンターを接続する

5 カメラの電源をONにする
- 正しく接続されると、カメラの液晶モニターに①の画面が表示された後、撮影した画像（②）が表示されます。

①

②

ケーブル接続時のご注意

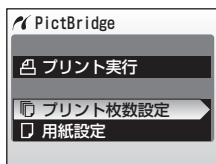
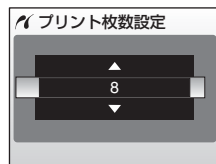
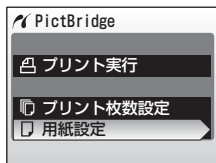
- ケーブルを接続するときは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- ケーブルの端子で端子カバーをはさまないようにご注意ください。

1コマだけプリントする

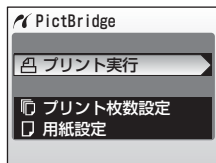
あらかじめカメラとプリンターを正しく接続してから（🔍67）、次の手順でプリントしてください。

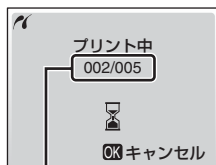
1 プリントしたい画像をマルチセレクターの▲▼◀▶ で選び、⊛ボタンを押す

- ［PictBridge］画面が表示されます。
- ⊞（**W**）ボタンを押して、6コマ表示に切り換えて画像を選ぶこともできます。🔍（**T**）ボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。
- マルチセレクターの使い方がわからないときは→🔍8

2 ▲▼で［プリント枚数設定］を選び、⊛ボタンを押す

3 ▲▼ でプリント枚数（9 枚まで）を設定し、⊛ボタンを押す

4 ▲▼で［用紙設定］を選び、⊛ボタンを押す

5 ▲▼で用紙サイズを選び、Ⓚボタンを押す

- プリンターの設定を優先したいときは、［プリンターの設定］を選んでⓀボタンを押します。

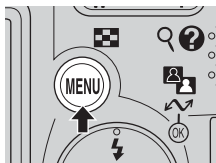
6 ▲▼で［プリント実行］を選び、Ⓚボタンを押す

7 プリントが始まる

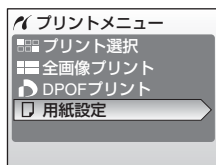
- プリントが終わると、手順1の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、Ⓚボタンを押します。

プリント中の枚数／総枚数

複数の画像をプリントする

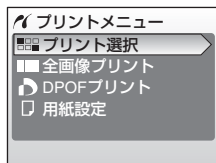
あらかじめカメラとプリンターを正しく接続してから（Ⓐ67）、以下の手順でプリントしてください。

1 撮影した画像が表示されているときに、MENU ボタンを押す

- ［プリントメニュー］画面が表示されます。

2 マルチセレクターの▲▼で［用紙設定］を選び、Ⓚボタンを押す

- マルチセレクターの使い方がわからないときは
→8

3 ▲▼で用紙サイズを選び、Ⓚボタンを押す

- プリンターの設定を優先したいときは、［プリンターの設定］を選んでⓀボタンを押します。

4 ▲▼で［プリント選択］、［全画像プリント］または［DPOFプリント］を選んで、Ⓚボタンを押す

プリント選択

画像を複数選んでプリントできます（手順5に進む）。

全画像プリント

SDカードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリントできます（手順7に進む）。

DPOFプリント

［プリント指定］（72）であらかじめ指定しておいた画像をプリントできます

- 右の画面が表示されます。
- ▲▼で［プリント実行］を選び、Ⓚボタンを押すと画像がプリントされます（手順7に進む）。
- ［画像の確認］を選んでⓀボタンを押すと、プリント指定した画像が確認できます（手順6に進む）。

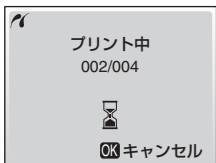
5 プリントする画像と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定する

- 選択中の画像が、中央に大きく表示されます。
- ◀▶ で画像を選び、▲▼ でプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、🖶マークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、🖶マークが消え、その画像の選択が解除されます。
- 設定が終了したらⓚボタンを押します。

6 ▲▼◀▶ で画像を確認して、ⓚボタンを押す

- 画像を選び直したいときは、MENU ボタンを押して、前の画面に戻ります。

7 プリントが始まる

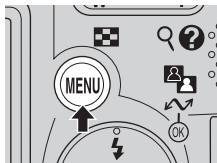
- プリントが終わると、手順2の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、ⓚボタンを押します。

用紙設定について

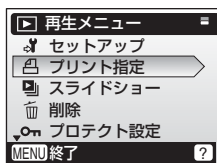
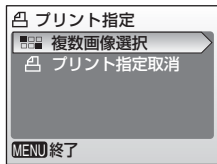
［用紙設定］画面では、［プリンターの設定］以外に、［Lサイズ］、［2Lサイズ］、［ハガキ］、［100×150mm］、［4×6 in.］、［8×10 in.］、［Letter］、［A3サイズ］、［A4サイズ］のうち、プリンターが対応している用紙サイズが表示されます。プリンター側の設定を優先したいときは、［プリンターの設定］を選んでください。

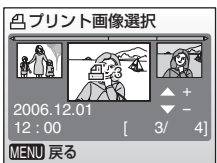
SDカードにプリントする画像や枚数を設定する（プリント指定）

DPOF（🔍121）対応のプリンターやプリントサービス店で画像をプリントするときは、どの画像を何枚プリントするかを、あらかじめ指定することができます。
撮影日や撮影情報（シャッタースピードと絞り値）を画像に入れてプリントすることもできます。
プリント指定で設定した画像の選択やプリント枚数で、カメラをPictBridge対応プリンターに接続してプリントすることもできます。カメラからSDカードを取り外すと、内蔵メモリーに記録した画像にもプリント指定できます。

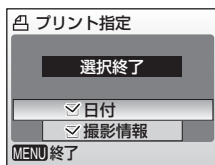
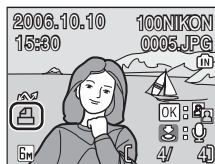
1 再生モードでMENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。
- PictBridge 対応プリンターに接続してプリントするときは、プリンターと接続する前に設定します。

2 マルチセレクターの▲▼で［プリント指定］を選び、⊛ボタンを押す

- ［プリント指定］画面が表示されます。
- マルチセレクターの使い方がわからないときは→🔍8

3 ▲▼で［複数画像選択］を選び、⊛ボタンを押す

4 プリントする画像と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定する

- 選択中の画像が、中央に大きく表示されます。
- ◀▶ で画像を選び、▲▼ でプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、🖶マークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、🖶マークが消え、その画像の選択が解除されます。
- 設定が終了したら⊛ボタンを押します。

5 日付と撮影情報をプリントに印字するかどうかを設定する

プリント指定
選択終了
日付
撮影情報
MENU 終了

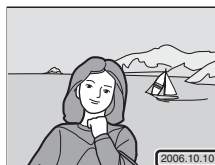
- ▲▼で［日付］を選んで®ボタンを押すとチェックボックスがオン［✔］になり、撮影日が印字されます。
  もう一度®ボタンを押すと、チェックボックスをオフにできます。
- ［撮影情報］を選んで®ボタンを押すとチェックボックスがオン［✔］になり、すべての画像に撮影情報が印字されます。ただしカメラとプリンターを接続してプリントするときは、［撮影情報］は印字できません（☞67）。
  もう一度®ボタンを押すと、チェックボックスをオフにできます。
- ［選択終了］を選んで®ボタンを押すと、設定が有効になります。

［プリント指定］を行った画像は、再生時の画面で確認できます。

✔ プリント指定についてのご注意

プリント指定を行った後、再び［プリント指定］メニューを表示すると、［日付］と［撮影情報］の設定はリセットされますのでご注意ください。

プリント指定をすべて取り消すには

手順2で［プリント指定取消］を選び®ボタンを押します。すべての画像に対するプリント指定が取り消されます。

日付のプリントについて

プリントされる日付は、撮影時点でカメラに設定されている日時です。撮影後にセットアップメニューの［日時設定］を変更してもプリントされる日付には反映されません。

［デート写し込み］との違いについて

［プリント指定］で設定した日付はDPOF 対応（☞121）プリンターでのみプリント可能です（プリント位置はプリンターに依存します）。DPOF に対応していないプリンターで日付をプリントする場合は、セットアップメニューの［デート写し込み］（☞97）をお使いください（プリント位置は固定です）。両方を設定した場合は、DPOF 対応プリンターを使用しても［デート写し込み］による日付のみプリントされます。

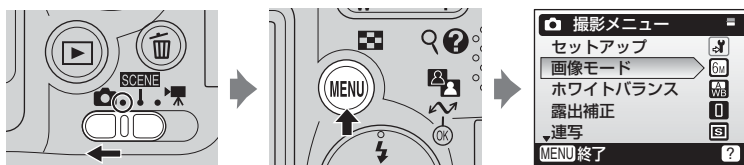
撮影に関する設定—撮影メニュー

撮影メニューには、以下の項目があります。

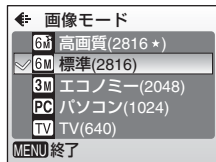
	セットアップ	90
	セットアップメニューを表示します。	
	画像モード	75
	記録時の画像モード（画像の大きさと圧縮率の組み合わせ）を設定します。	
WB	ホワイトバランス※	77
	画像が見た目に近い色で記録されるように、光源に合わせてホワイトバランスを設定します。	
	露出補正	79
	明るい被写体、暗い被写体、コントラストの強い被写体に対して露出を補正します。	
	連写※	80
	連写（連続撮影）するかどうかを設定します。	
BSS	BSS※	81
	ベストショットセレクター（最大10コマを連写し、最も鮮明な1コマをカメラが自動的に選んで記録する機能）を設定します。	
	ピクチャーカラー※	81
	撮影する画像の色調について設定します。	

※これらの機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります（82）。

撮影メニューの表示方法

モードセレクターを（オートモード）にしてMENUボタンを押すと、撮影メニューが表示されます。

- メニューの選択と設定にはマルチセレクターを使います（8）。
- 撮影メニューを終了するには、MENUボタンを押します。

画像モード

画像モード（画像の大きさと圧縮率の組み合わせ）を設定します。画像の用途や内蔵メモリー／SDカードの残量に合わせて設定します。次の表で上にある画像モードほど、より精細な画像を大きくプリントすることができますが、ファイルサイズが大きくなるため、記録できるコマ数は少なくなります。

画像モード	画像の大きさ（ピクセル）	内　容
高画質（2816★）	2816×2112	［標準］よりも精細な画像になります。圧縮率は約1/4です。
標準（2816）（初期設定）	2816×2112	ファイルサイズと画質のバランスが良く、一般的な撮影に適した画像モードです。圧縮率は約1/8です。
エコノミー（2048）	2048×1536	［標準］よりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。圧縮率は約1/8です。
パソコン（1024）	1024×768	パソコンのモニターに表示するときに適しています。圧縮率は約1/8です。
TV（640）	640×480	電子メールへの添付や、テレビへの表示に適しています。圧縮率は約1/8です。

画像モードの設定状況は、撮影時や再生時の画面で確認できます（6、7）。

画像モードと記録可能コマ数

内蔵メモリーや256MBのSDカードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量のSDカードでも、カードの種類によって、記録可能コマ数が異なる場合があります。

画像モード	内蔵メモリー（約23MB）	SDカード（256MB）	プリント時の大きさ（出力解像度300dpiの場合）
高画質（2816★）	7コマ	約80コマ	約24×18cm
標準（2816）	15コマ	約150コマ	約24×18cm
エコノミー（2048）	28コマ	約290コマ	約17×13cm
パソコン（1024）	97コマ	約990コマ	約9×7cm
TV（640）	183コマ	約1860コマ	約5×4cm

※記録可能コマ数が10000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

画像モードの設定について

画像モードは、シーンメニューからでも設定できます。どのメニューから設定しても同じ設定になります。

WB ホワイトバランス

光源に合わせて、画像が見た目に近い色で撮影されるようにすることを「ホワイトバランスを合わせる」といいます。初期設定の［オート］ではほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせてホワイトバランスを変更してください。

オート（初期設定）

カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。ほとんどの場合、この設定のままで撮影できます。

PRE プリセット

特殊な照明の下などでの撮影に適しています。詳しくは次ページをご覧ください。

晴天

晴天の屋外での撮影に適しています。

電球

白熱電球の下での撮影に適しています。

蛍光灯

白色蛍光灯の下での撮影に適しています。

曇天

曇り空の屋外での撮影に適しています。

フラッシュ

フラッシュを使って撮影する場合に適しています。

ホワイトバランスの設定状況は、撮影時の画面で確認できます（［オート］のときは、何も表示されません）（6）。

［オート］、［フラッシュ］以外を選択したとき

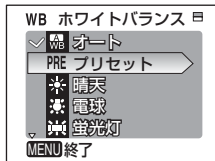
［オート］、［フラッシュ］以外のホワイトバランスを選択したときは、フラッシュを（発光禁止）に設定してください（24）。

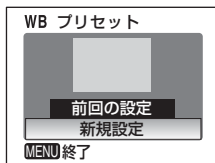
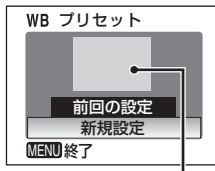
PRE プリセットホワイトバランス

特殊な照明の下で撮影するときなど、［オート］や［電球］などの設定では望ましい結果が得られない場合に使用します（赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せる場合など）。

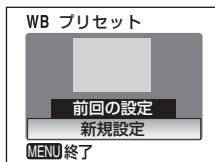
1 撮影時に使う照明と、白またはグレーの被写体を用意する

2 ［ホワイトバランス］の設定画面で、マルチセレクターの▲▼を押して［PRE プリセット］を選び、OKボタンを押す

- レンズが望遠側にズームします。
- マルチセレクターの使い方がわからないときは→8

3 ▲▼で［新規設定］を選ぶ

- 前回プリセットしたホワイトバランスを使いたいときは、［前回の設定］を選んでOKボタンを押してください。ホワイトバランスが前回のプリセット値に設定されます。

4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を写す

測定窓

5 OKボタンを押す

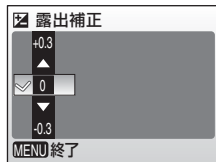
- シャッターがきれて、ホワイトバランスのプリセット値が新たに設定されます。
- 画像は記録されません。

プリセットホワイトバランスについてのご注意

手順5でOKボタンを押したとき、フラッシュは発光しません。このため、フラッシュ撮影時のホワイトバランスを測定することはできません。

撮影、再生、セットアップメニューを使う

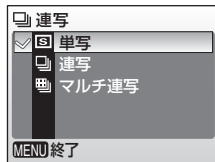
露出補正

画像全体を明るくしたいときや暗くしたいときなどに使います。露出は、－2.0EVから＋2.0EVの範囲で補正できます。露出補正を行うと、液晶モニターの背景画像に反映されます。

- 画像が暗すぎるとき：
  補正値を＋側に設定してください。
- 画像が明るすぎるとき：
  補正値を－側に設定してください。

露出補正
+0.3
0
-0.3
MENU 終了

露出補正値の設定状況は、撮影時の画面で確認できます（［0］（初期設定）のときは何も表示されません）（6）。

連写

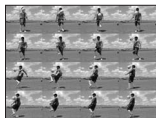
連写（連続撮影）するための設定です。連写中のピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。

単写（初期設定）

1コマずつ撮影します。

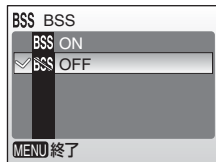
連写

シャッターボタンを深く押し続けると、最速約1.7コマ／秒で連写できます。画像モードが標準（2816）の場合、連続で約10コマ撮影できます。

マルチ連写

シャッターボタンを1回深く押し込むと約2コマ／秒で16コマの連続写真を撮影し、右のような1コマの画像（標準、画像サイズ2816×2112）として記録します。

連写モードの設定状況は、撮影時の画面で確認できます（［単写］のときは、何も表示されません）（6）。

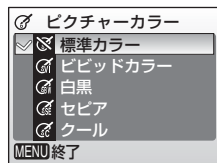
BSS BSS

手ブレしやすい状況での撮影に便利なBSS（ベストショットセレクター）機能を設定します。暗い場所でフラッシュを使わずに撮影するときや、望遠側で撮影するときなどに使用します。［ON］にすると、シャッターボタンを深く押し込んでいる間、連写を続け（最大10コマ）、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている1コマをカメラが自動的に選んで記録します（初期設定は［OFF］）。

［ON］のときは、撮影時の画面にBSSマークが表示されます（6）。

BSSについてのご注意

BSSは静止している被写体の撮影に効果的ですが、動いている被写体の撮影や、構図を変えながらの撮影では、望ましい結果が得られない場合があります。

ピクチャーカラー

記録する画像の色調を変えます。

	標準カラー（初期設定）
	自然な色調になります。
VI	**ビビッドカラー**
	はっきりした色調になります。
BW	**白黒**
	モノクロになります。
SE	**セピア**
	セピア色になります。
C	**クール**
	ブルー系のモノトーンになります。

ピクチャーカラーの設定状況は、撮影時の画面で確認できます（［標準カラー］のときは、何も表示されません）。また設定に応じて、画面の色調も変わります（6）。

同時に設定できる機能の制限

モードでは、以下のように、複数の機能を同時に設定できない場合があります。

フラッシュモード

［連写］モードを［連写］または［マルチ連写］にするか、［BSS］を［ON］にすると、フラッシュモードはに固定されます。
［連写］モードを［単写］に戻す、または［BSS］を［OFF］に戻すと、元のフラッシュモードに戻ります。

セルフタイマー

セルフタイマーをONにすると、
- ［連写］モードは設定に関わらず、［単写］として動作します。
- ［BSS］は設定に関わらず、［OFF］として動作します。

セルフタイマーをOFFにする（またはセルフタイマー撮影が完了する）と、［連写］モードまたは［BSS］の設定が有効になります。

連写

［連写］モードを［連写］または［マルチ連写］にすると、［BSS］は［OFF］に変更されます。
［連写］モードを［単写］に戻しても、［BSS］は［OFF］のままです。

BSS

［BSS］を［ON］にすると、［連写］モードは［単写］に変更されます。
［BSS］を［OFF］に戻しても、［連写］モードは［単写］のままです。

ホワイトバランスとピクチャーカラー

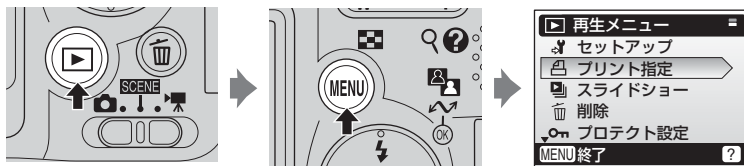
［ピクチャーカラー］を［白黒］［セピア］［クール］のいずれかにすると、［ホワイトバランス］は［オート］に固定されます。
［ピクチャーカラー］を［標準カラー］または［ビビッドカラー］に戻すと、元の［ホワイトバランス］の設定に戻ります。

再生に関する設定—再生メニュー

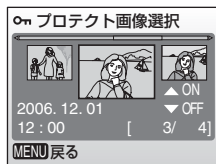
再生メニューには、以下の項目があります。

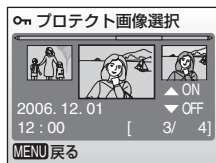
	セットアップ	90
	セットアップメニューを表示します。	
	プリント指定	72
	プリンターでプリントする画像や、その枚数などを設定します。	
	スライドショー	85
	内蔵メモリー／SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。	
	削除	87
	画像を削除します。	
	プロテクト設定	87
	大切な画像を誤って削除しないように、プロテクト（保護）します。	
	転送マーク設定	88
	撮影済みの画像に、パソコンに転送するための転送マークを付けます。	
	スモールピクチャー	46
	撮影した画像から、サイズの小さい画像を新しく作ります。	
	画像コピー	89
	内蔵メモリーとSDカードの間で画像をコピーします。	

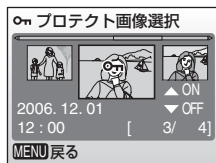
再生メニューの表示方法

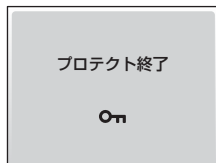
ボタンを押して画像を再生し、MENUボタンを押すと、再生メニューが表示されます。

- メニューの選択と設定にはマルチセレクターを使います（8）。
- 再生メニューを終了するには、MENUボタンを押します。

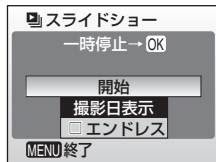
画像選択画面の操作方法

再生メニューの［プリント指定］（☞72）、［削除］（☞87）、［プロテクト設定］（☞87）、［転送マーク設定］（☞88）、［画像コピー］（☞89）およびセットアップメニューの［オープニング画面］（☞92）では、設定の対象となる画像を選ぶときに、右のような画像選択画面が表示されます。操作方法は以下のとおりです。

1 マルチセレクターの◀▶ で画像を選ぶ

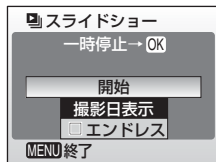
- 選択中の画像が、中央に大きく表示されます。
- マルチセレクターの使い方がわからないときは→☞8

2 ▲▼でON/OFF（または枚数）を設定する

- ON にすると、選択画像中央にマークが表示されます。ほかの画像にも設定したいときは、手順1、2を繰り返してください。

3 ⓚボタンを押す

- 設定が有効になります。

スライドショー

内蔵メモリー／SDカードに記録されている画像を、1コマずつ順番に自動的に連続再生します。約3秒間隔で、撮影した順番に再生します。
［撮影日表示］を選ぶと、撮影した日付の画像から再生できます。

1 ［スライドショー］の設定画面で、マルチセレクターの▲▼を押して［開始］または［撮影日表示］を選び、OKボタンを押す

スライドショー
一時停止→OK
開始
撮影日表示
エンドレス
MENU終了

- 繰り返し再生するには、［開始］または［撮影日表示］を選ぶ前に［エンドレス］を選んでOKボタンを押し、チェックボックスをオン✔にしてください。
- ［開始］：最初の画像から再生します。手順3へお進みください。
- ［撮影日表示］：選んだ撮影日の画像から再生します。手順2へお進みください。
- マルチセレクターの使い方がわからないときは→8

2 ▲▼で再生する画像の撮影日を選び、OKボタンを押す

- 撮影年月日ごとに、最初に撮影した画像と枚数が表示されます。
- 最新の撮影日から、最大で30日分の撮影日が表示されます。それより古い撮影日の画像が記録されている場合は、［過去画像］として最後にまとめて分類されます。
- 撮影日ごとに最大で9000コマの画像枚数が表示されます。一日の画像枚数が9000コマを超える場合は、枚数の横に［*］が表示されます。

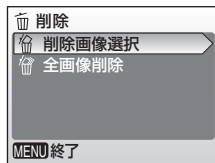
3 スライドショーが始まる

- 撮影日を選んだ場合は、指定した撮影日の画像からスライドショーが開始され、撮影した順に再生されます。
- スライドショーの再生中は、次の操作ができます。
  - ▶ を押すと次の画像が、◀を押すと前の画像が表示されます（押し続けると早送り／早戻しになります）。
  - ㊊ボタンを押すと一時停止します。
- スライドショー終了時や一時停止時は右の画面が表示されます。［終了］を選んで㊊ボタンを押すと再生メニューに戻り、［再開］を選んで㊊ボタンを押すとスライドショーが再開されます。他の撮影日の画像からスライドショーを始めるには、［撮影日表示］を選んで㊊ボタンを押し、手順2、3を行ってください。

スライドショーについてのご注意

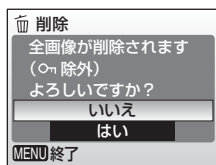
- 動画（🔍53）は1フレーム目だけが表示されます。
- ［エンドレス］で再生していても、何も操作しないで約30分経過すると、液晶モニターが消灯します。何も操作しないまま、さらに約3分経過すると、電源がOFFになります。
- 日時設定をしないで撮影した画像（🔍12、93）は、［撮影日表示］では選択できません。

削除

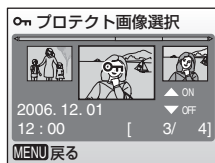
画像を削除できます。
SDカードをカメラに入れていない場合は、内蔵メモリー内の画像が削除されます。
SDカードをカメラに入れると、SDカード内の画像が削除されます。

削除画像選択

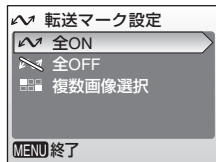
画像選択画面で選択した画像を削除します。
操作方法については→84

全画像削除

すべての画像を削除します。
- 削除確認画面で［はい］を選んで OK ボタンを押すと、すべての画像が削除されます。
- キャンセルするときは［いいえ］を選んで OK ボタンを押します。

画像削除についてのご注意
- 削除した画像はもとに戻すことができないのでご注意ください。残しておきたい画像はパソコンに転送して保存することをおすすめします。
- マークが表示されている画像は、プロテクト（保護）されているので削除されません。

プロテクト設定

大切な画像を誤って削除してしまうことを防ぐために、画像にプロテクト（保護）を設定できます。ただし、内蔵メモリー／SDカードを初期化（フォーマット、101）すると、プロテクト設定した画像も削除されるので、ご注意ください。
操作方法については→84
プロテクト設定した画像には、再生時にマークが表示されます（7）。

転送マーク設定

カメラに保存した画像に（転送）マークの設定／解除を行います。PictureProjectがインストールされたパソコンとカメラを付属のUSBケーブルで接続し、ボタンを押すとマークの付いた画像がパソコンに転送されます（64）。初期設定ではすべての画像に転送マークが付きます。

	全ON
	撮影済みのすべての画像に転送マークを付けます。
	全OFF
	撮影済みのすべての画像から転送マークを外します。
	複数画像選択
	画像選択画面で、転送マークを付ける画像を選びます。 **操作方法については→84**

転送マークを付けた画像には、再生時にマークが表示されます（7）。

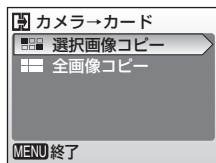
撮影、再生、セットアップメニューを使う

転送マーク設定についてのご注意

- 最大で999コマまでの画像を転送設定できます。999コマを超える画像を転送する場合はPictureProject の［転送］ボタンを使用すると、すべての画像を一括で転送できます。詳しくはPictureProjectソフトウェア使用説明書（CD-ROM）をご覧ください。
- COOLPIX L6以外のカメラで転送マークを付けた画像の転送設定は認識されません。COOLPIX L6でもう一度転送マークを付けてください。

画像コピー

内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。

コピーしたい画像を選択してコピーしたり、内蔵メモリー／SDカードのすべての画像をコピーすることができます。
操作方法については→84

IN→	内蔵メモリーに記録されている画像をSDカードへコピーします。
→IN	SDカードに記録されている画像を内蔵メモリーへコピーします。

画像コピーについてのご注意

- 画像コピー中にコピー先の空き容量が不足したときは、画像コピーが中止され、エラーメッセージが表示されます。コピー先に収まり切らなかった画像はコピーされません。
- コピーできる画像ファイルの形式は、JPEG、MOV、WAVです。これ以外の形式の画像ファイルはコピーできません。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像のコピーはできません。

コピーした画像のファイル名について

- 選択画像コピーのときは、コピー先にすでに作成されているフォルダー内に選択した画像がコピーされ、コピー先およびコピー元双方での最も大きいファイル番号+1からの連番で、ファイル名が付きます。

  例：コピー元メモリーのファイル番号の最大値が32（DSCN0032.JPG）、コピー先メモリーのファイル番号の最大値が18（DSCN0018.JPG）の場合
  コピーした画像のファイル名は、DSCN0033からの連番になります。
- 全画像コピーのときは、内蔵メモリー／SDカードの全画像がフォルダーごとコピーされます。フォルダー名は、新規のフォルダー番号（コピー先にある最大の番号に1を加えた番号）を付けた名前となります。コピー先に新しいフォルダーを作成できないときは、コピーは実行されず、エラーメッセージが表示されます。

プリント指定、転送マーク設定、プロテクト設定について

［プリント指定］（72）を行ったり、［転送マーク設定］（88）をONにした画像をコピーしても、これらの設定内容はコピーされません。ただし、［プロテクト設定］（87）をした画像をコピーしたときは、コピー先の画像もプロテクトされます。

音声のみのコピーについて

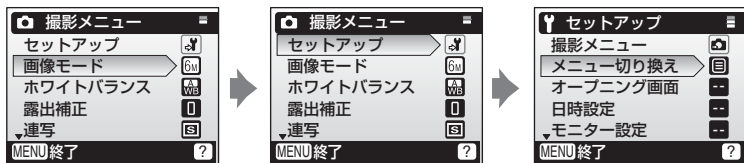
音声レコードデータのコピーについては、「音声データをコピーする」（58）をご覧ください。

カメラに関する基本設定―セットアップメニュー

セットアップメニューには、以下の項目があります。

	項目	ページ
MENU	**メニュー切り換え**	91
	メニューの表示形式を切り換えます。	
	オープニング画面	92
	電源をONにしたときに表示される「オープニング画面」について設定します。	
	日時設定	93
	内蔵時計を合わせます。	
	モニター設定	96
	画面の表示内容や明るさを設定します。	
DATE	**デート写し込み**	97
	画像に撮影日時を写し込む設定を行います。	
	操作音	99
	操作音について設定します。	
	手ブレお知らせ	99
	手ブレお知らせ画面を表示するかどうかを設定します。	
	オートパワーオフ	100
	待機状態に入るまでの時間を設定します。	
IN／	**メモリーの初期化／カードの初期化**	101
	内蔵メモリー／SDカードを初期化します。	
	言語／LANGUAGE	102
	画面に表示される言語を設定します。	
	インターフェース	102
	パソコンやテレビとの接続に必要な設定を行います。	
C	**設定クリアー**	103
	各種設定を初期状態に戻します。	
	電池設定	105
	使用する電池の種類を設定します。	
Ver.	**バージョン情報**	105
	ファームウェアの情報を表示します。	

セットアップメニューの表示方法

撮影メニュー（🔍74）、シーンメニュー（🔍28）、動画メニュー（🔍50）、再生メニュー（🔍83）のいずれかのメニューから［セットアップ］を選び、Ⓚボタンを押すと、セットアップメニューが表示されます。

メニューを表示する

マルチセレクターの▲▼で［セットアップ］を選びⓀボタンを押す

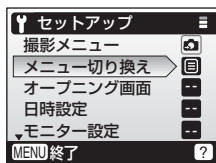
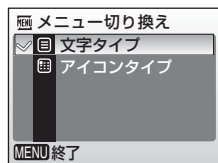
- メニューの選択と設定にはマルチセレクターを使います（🔍8）。
- セットアップメニューを終了するには、MENUボタンを押します。

メニュー切り換え

MENUボタンを押して表示されるメニューの表示方法を、［文字タイプ］（初期設定）と［アイコンタイプ］の2種類から選択できます。
［アイコンタイプ］に設定するとメニューの全項目を1画面に表示できます。アイコンタイプの場合、選択中のメニュー名が画面上部に表示されます。

文字タイプ

アイコンタイプ

撮影、再生、セットアップメニューを使う

オープニング画面

カメラの電源をONにしたときに液晶モニターに表示されるオープニング画面を設定します。

なし（初期設定）

電源をON にしたとき、オープニング画面は表示されず、そのまま撮影画面になります。

Nikon

電源をON にしたとき、オープニング画面が表示されます。

アニメーション

電源をON にしたとき、オープニングアニメーションが表示されます。

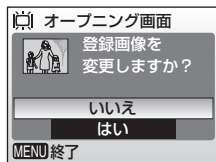
撮影した画像

内蔵メモリー／SD カードの画像を、オープニング画面として登録できます。

操作方法については→ 84

登録した画像はカメラに記憶されるため、その画像を削除したりSDカードを入れかえたりしても、オープニング画面は変わりません。

［撮影した画像］を選択した場合

すでに画像を登録していると、登録していた画像を変更するかどうかを確認する画面が表示されます。

日時設定

カメラに内蔵された時計を設定します。
海外旅行などに便利なワールドタイム（時差を自動的に計算する）機能も設定できます。

日時

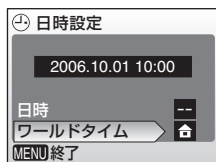
内蔵時計の日付と時刻を設定します。
設定方法については→12～13

ワールドタイム

海外旅行などに便利な機能です。訪問先のタイムゾーン（地域）を登録すると、自宅からの時差（95）を自動的に計算し、現地時間で撮影時刻を記録することができます。自宅のタイムゾーンや夏時間（サマータイム）も［ワールドタイム］から設定します。

時差のある地域で使うには

1 マルチセレクターの ▲▼ で［ワールドタイム］を選び、OKボタンを押す

- ［ワールドタイム］画面が表示されます。
- マルチセレクターの使い方がわからないときは→8

2 ▲▼で✈（訪問先）を選び、OKボタンを押す

- 訪問先の時計に切り換わります。
- 夏時間（サマータイム）が現在実施されている地域でお使いになる場合は、▼で［夏時間］を選んでOKボタンを押し（時間が1時間進みます）▲を押します。

3 ▶ を押す

- ［訪問先の設定］画面が表示されます。

4 ◀▶ で訪問先の地域を選び、Ⓚボタンを押す

- 設定が有効になります。

5 MENUボタンを押す

- 撮影または再生モードに戻ります。
- 訪問先の時計に設定されているときは、撮影時の画面に✈マークが表示されます。

日時設定についてのご注意

カメラの内蔵時計は、カメラに入れる電池とは別の時計用電池で動いています。カメラに電池を入れるかACアダプターを接続すると、時計用電池が約10時間で充電され、数日間、設定した日時を記憶することができます。

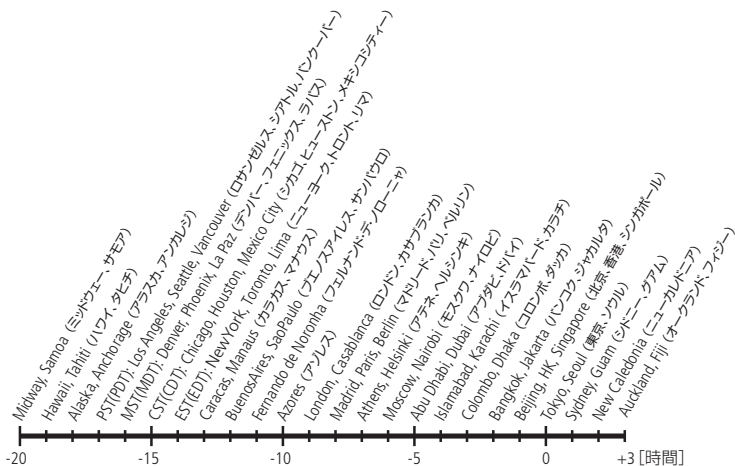
⌂（自宅）の設定について

- 自宅のタイムゾーンに戻すには、手順2で⌂（自宅）マークを選んでください。
- 自宅のタイムゾーンを変更するには、手順2で⌂（自宅）マークを選び、✈(訪問先)と同様の手順でタイムゾーンを変更してください。

夏時間の設定について

- 夏時間（サマータイム）が実施されていないときに日時設定した場合：
  日時設定後に夏時間が実施された場合は、［夏時間］のチェックボックスをオン［✔］にすれば、カメラの時刻が1時間進みます。
- 夏時間の実施中に［夏時間］のチェックボックスをオン［✔］にして日時設定した場合：
  日時設定後に夏時間の期間が終了したときは、［夏時間］のチェックボックスをオフにすれば、カメラの時刻が1時間戻ります。

タイムゾーンについて

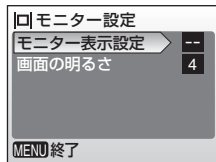
タイムゾーンと時差の関係は以下のとおりです。1時間未満の単位の時差がある場合は、［日時設定］で正確な時刻に合わせてください。

モニター設定

画面の表示内容や明るさを設定します。

モニター表示設定

撮影・再生時の画面に表示される情報について設定します。

画面の明るさ

画面の明るさを5段階で調節できます。

「モニター表示設定」について

画面に表示される情報に関する設定を行います。

液晶モニターの表示内容については→6

	撮影時	再生時
情報ON		
情報OFF		

デート写し込み

画像に直接日時を写し込みます。DPOF（121）に対応していないプリンターで日付入り画像をプリントしたいときなどに使用します。

OFF（初期設定）

日付、時刻のどちらも写し込みません。

年・月・日

撮影した画像の右下に、日付が写し込まれます。

年・月・日・時刻

撮影した画像の右下に、日付と時刻が写し込まれます。

誕生日カウンター 98

お子様の成長記録や植物の観察日記などに便利な機能です。

デート写し込みの設定状況は、撮影時の画面で確認できます（6）。
［OFF］のときは何も表示されません。

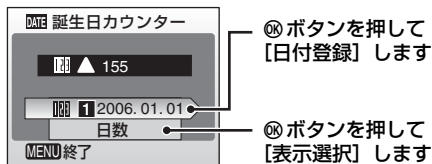
デート写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- ［画像モード］（75）が［TV（640）］の画像にデート写し込みを行うと、写し込んだ日付が見えにくい場合があります。画像モードは［パソコン（1024）］以上に設定してください。
- 年月日の並びは、［日時設定］（12、93）での設定と同じになります。

「デート写し込み」と「プリント指定」の違いについて

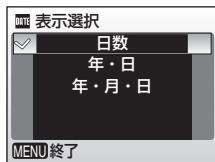
DPOF対応のプリンターでプリントする場合は、［プリント指定］（72）で撮影日時や撮影情報をプリントするように指定できます。「デート写し込み」と「プリント指定」の違いについては、「［デート写し込み］との違いについて」（73）をご覧ください。

誕生日カウンターの使い方

特定の日付からの日数を画像に入れることができます。誕生日や結婚式までの日数をカウントダウン形式で入れたり、お子様が産まれた日からの経過日数を入れるなどの用途に使用できます。

日付登録

1～3のいずれかを選んでマルチセレクターの▶ を押すと、日付設定画面が表示されます(13)。日付を設定後、OKボタンを押してください。日付は3種類まで登録できます。他の日付に切り換えるには、1～3のいずれかを選んでOKボタンを押してください。

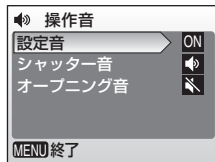
表示選択

日付の表示形式を選んで OK ボタンを押してください。

誕生日カウンターを使って撮影した画像には、以下のように日付が写し込まれます。

記念日まであと 2 日の場合

記念日から 2 日後の場合

🔊 操作音

操作音について設定します。

設定音

設定音（電子音1回：設定完了時など）や警告音（電子音3回：禁止動作を行ったときなど）のON（初期設定）/OFFを設定します。

シャッター音

シャッターをきったときの音量を、［大］、［標準］（初期設定）、［OFF］から選べます。

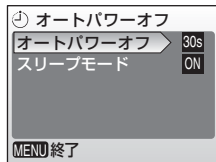
オープニング音

起動時のオープニング音の音量を［大］、［標準］、［OFF］（初期設定）から選べます。

手ブレお知らせ

画像の撮影後に、「手ブレお知らせ画面」（25）を表示するかどうかを選べます。［ON］（初期設定）にすると、手ブレの可能性が高い場合は撮影後に「手ブレお知らせ画面」が表示されます。［ON］に設定しても、撮影モードによっては手ブレお知らせ画面が表示されない場合があります（116）。

オートパワーオフ

電源をONにしたまま何も操作しないで一定時間が過ぎると、電池の消耗を抑えるために液晶モニターが消灯し、待機状態に入ります。ここでは、待機状態に入るまでの時間を設定できます。待機状態に入ってから、何も操作しないでさらに約3分経過すると、電源がOFFになります。

オートパワーオフ

無操作時に、待機状態に入るまでの時間を［30秒］（初期設定）、［1分］、［5分］、［30分］から選べます。

スリープモード

［ON］（初期設定）の状態では、［オートパワーオフ］で設定している時間内でも、被写体の明るさに変化がない状態が続くと、待機状態に入ります。［オートパワーオフ］が［1分］以下のときは30秒で、［5分］以上のときは1分で待機状態に入ります。

- オートパワーオフを［30 秒］に設定しスリープモードを［ON］にしている場合は、15 秒後に液晶モニターが消灯し、電源ランプが点滅します。何も操作しないでさらに 15 秒経過すると待機状態に入ります。

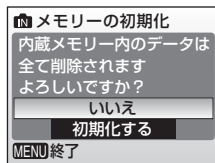
オートパワーオフについてのご注意

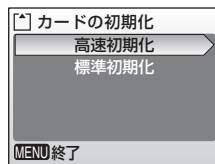
- 以下の場合は、待機状態に入るまでの時間が決まっています。
  - メニューの表示中：3分
  - スライドショーの再生中：30分

メモリー／カードの初期化

内蔵メモリーまたはSDカードを初期化（フォーマット）します。

内蔵メモリーの初期化

内蔵メモリーを初期化するときは、SDカードを取り出してください。セットアップメニューの項目に［メモリーの初期化］が表示されます。

SDカードの初期化

SDカードをカメラに入れると、SDカードを初期化できます。セットアップメニューの項目に［カードの初期化］が表示されます。

高速初期化

SDカード上のデータが記録されている領域のみを初期化します。

標準初期化

データが記録されていない領域も含むSDカード全体が初期化されます。標準初期化は高速初期化に比べて処理時間が長くなります。

初期化についてのご注意

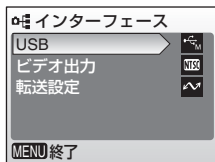
- 内蔵メモリー／SDカードを初期化すると、内蔵メモリー／SDカード内のデータはすべて消去されます。初期化する前に必要なデータはパソコンなどに転送してください。
- 初期化中は、電源をOFFにしたり、電池やSDカードを取り出したりしないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをCOOLPIX L6で初めて使う場合は、［標準初期化］をしてからお使いください。
- SD カードは、撮影と削除を繰り返すと処理能力が落ちてくるため、定期的にカメラで［標準初期化］を行うことをおすすめします。
- 電池残量が少ないときは、［標準初期化］はできません。

言語/ LANGUAGE

画面に表示される言語を、20種類から選べます。

Čeština	チェコ語
Dansk	デンマーク語
Deutsch	ドイツ語
English	英語
Español	スペイン語
Français	フランス語
Indonesia	インドネシア語
Italiano	イタリア語
Nederlands	オランダ語
Norsk	ノルウェー語
Polski	ポーランド語
Português	ポルトガル語
Русский	ロシア語
Suomi	フィンランド語
Svenska	スウェーデン語
中文简体	簡体字中国語
中文繁體	繁体字中国語
日本語	日本語（初期設定）
한글	韓国語
ภาษาไทย	タイ語

インターフェース

パソコンやテレビとの接続に必要な設定を行います。

USB

パソコンやプリンターとの通信方式を［Mass Storage］と［PTP］から選びます。
詳しくは→62（パソコンとの接続時）、→67（プリンターとの接続時）

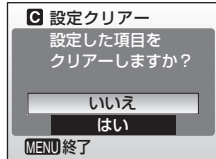
ビデオ出力

ビデオの出力方式を［NTSC］と［PAL］から選べます。［NTSC］と［PAL］はいずれも、アナログカラーテレビ放送の規格です。日本ではNTSC 方式が、欧州ではPAL 方式が主流です。

転送設定

［ON］（初期設定）にすると、設定後に撮影するすべての画像に転送マーク（65）が付きます。

設定クリアー

［はい］を選ぶと、カメラの各種設定が初期状態にリセットされます。
以下の項目がリセットされます。

撮影の基本機能

項目	初期設定
フラッシュモード（24）	オート
セルフタイマー（26）	OFF
マクロモード（27）	OFF

シーンモード

項目	初期設定
シーンモード（28）	ポートレート
ポートレートモード（30）	顔認識AF
風景モード（32）	風景
スポーツモード（33）	スポーツ
夜景ポートレートモード（34）	夜景ポートレート

動画メニュー

項目	初期設定
動画設定（50）	カメラ再生320
AF-MODE（51）	シングルAF

撮影メニュー

項目	初期設定
画像モード（75）	6M標準
ホワイトバランス（77）	オート
露出補正（79）	0
連写（80）	単写
BSS（81）	OFF
ピクチャーカラー（81）	標準カラー

セットアップメニュー

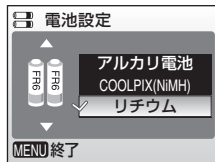
メニュー切り換え（91）	文字タイプ
オープニング画面（92）	なし
モニター表示設定（96）	情報ON
画面の明るさ（96）	4
デート写し込み（97）	OFF
設定音（99）	ON
シャッター音（99）	標準
オープニング音（99）	OFF
手ブレお知らせ（99）	ON
オートパワーオフ（100）	30秒
スリープモード（100）	ON
転送設定（102）	ON

その他

用紙設定（68、70）	プリンターの設定

- ［設定クリアー］を行うと、ファイル番号の連番（107）もクリアーされます。クリアー後に撮影した画像には、内蔵メモリー／SDカード内の最大ファイル番号の次の番号から連番が付けられます。ファイル名の連番を0001に戻したいときは、内蔵メモリー／SDカード内の画像をすべて削除（87）してから、［設定クリアー］を行ってください。
- 以下の項目（いずれもセットアップメニュー）は、［設定クリアー］を行っても初期設定には戻りません。
  ［日時設定］（93）、［誕生日カウンター］の登録日（98）、［言語］（102）、［インターフェース］（102）の［USB］と［ビデオ出力］、［電池設定］（105）

電池設定

バッテリーチェック（16）を正しく機能させるために、使用する電池の種類に合わせて設定してください。

アルカリ電池	アルカリ電池（LR6）
COOLPIX（NiMH）	リチャージャブルバッテリー EN-MH1、 オキシライド乾電池
リチウム（初期設定）	リチウム電池（FR6/L91）

Ver. バージョン情報

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

別売アクセサリー

充電式バッテリー

Ni-MHリチャージャブルバッテリー EN-MH1-B2（2本入り）

充電器

バッテリーチャージャー MH-71※

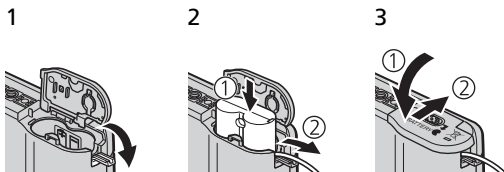
ACアダプター

ACアダプターキットEH-65A※

＜EH-65Aの取り付け方＞

1

2

3

ご注意：ACアダプターキットEH-62Bは使用できません。

※日本国内専用電源コード（AC100V対応）付属。日本国外で使用する場合は、別売の電源コードが必要です。

推奨SDカード一覧

以下のSDカードの動作を確認しています。

SanDisk製

64MB、128MB、256MB、512MB、1GB、256MB※、512MB※、1GB※

東芝製

64MB、128MB、256MB、512MB、1GB、128MB※、256MB※、512MB※

Panasonic製

64MB、128MB、256MB、512MB、1GB、256MB※、512MB※、1GB※

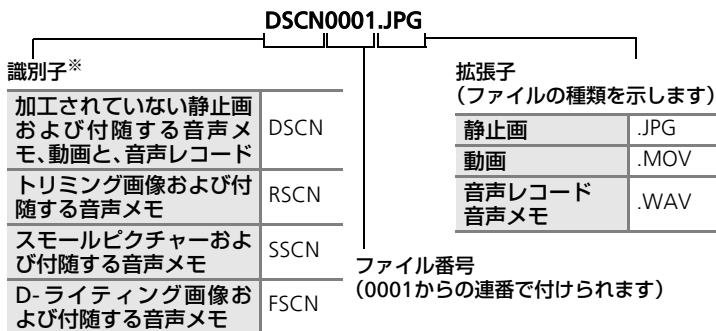
Nikon製

1GB※

※10MB/sの高速タイプ

上記カードの機能、動作の詳細については、各カードメーカーにお問い合わせください。
最新の動作確認済みSDカードについては、当社ホームページのサポート情報をご覧ください。

記録データのファイル名とフォルダ名

このカメラで撮影した静止画や動画、音声レコード、音声メモには、以下のようなファイル名が付けられます。

※ 撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などにより、コマ数は変動することがあります。

- 音声レコード以外のファイルが保存されるフォルダは、「3桁のフォルダ番号＋NIKON」（例：100NIKON）という名前で、音声レコードのファイルが保存されるフォルダは、「3 桁のフォルダ番号＋SOUND」（例：100 SOUND）という名前で自動的に作られます。フォルダ内のファイル数が200に達すると、新しいフォルダが作られます（例：100NIKON→101NIKON)。フォルダ内のファイル番号が9999に達した場合も新しいフォルダが作られ、ファイル番号は0001に戻ります。
- パノラマアシストモード(40）では、撮影のたびに「3 桁のフォルダ番号＋P_XXX」という名前のフォルダ（例：101P_001）が作られ、ファイル番号0001から始まる一連の画像が保存されます。
- フォルダ番号が 999 のときにファイル数が 200 個またはファイル番号が9999に達した場合は、それ以上撮影できません。SDカードを交換するか、内蔵メモリー／SDカードを初期化（101）してください。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ

レンズのガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないように注意してください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布などでガラス部分の中央から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。汚れが取れない場合は、乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。硬いもので拭くと傷が付くことがありますのでご注意ください。

液晶モニター

ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。強く拭くと破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

カメラボディー

ゴミやホコリをブロアーで吹き払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。
ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

保管について

長期間カメラをお使いにならないときは、電池を取り出してください。電池を取り出す前に、電源がOFFになっていることをご確認ください。
次の場所にカメラを保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または －10℃以下の場所
- 湿度が60％を超える場所

取り扱い上のご注意

カメラについて

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズやレンズバリアーに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバックやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射はCCDの褪色・焼きつきを起こす恐れがあります。また、その際撮影された画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 保管する際には

カメラを長期間お使いにならないときは、必ず電池を取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、月に一度を目安に電池を入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● 電池やACアダプターを取り外すときは必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態で、電池やACアダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

● 液晶モニターについて

- 液晶モニターの特性上、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。記録される画像には影響はありません。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくい場合があります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因になります。もしホコリやゴミ等が付着した場合は、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますので充分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

● スミアについて

明るい被写体を写すと、液晶モニター画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミア現象といい、故障ではありません。撮影された画像（動画を除く）には影響はありません。

電池について

● 充電池は、撮影前に充電する

別売のリチャージャブルバッテリー EN-MH1 をお使いの際は、撮影前に充電してください。ご購入時にはフル充電されていないので、ご注意ください。

● 使用上の注意

- 長時間お使いになった電池は、発熱していることがあるので、ご注意ください。
- 電池を取り出すときは、カメラの電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターが消灯していることをご確認ください。
- 使用推奨期限の過ぎた電池はお使いにならないでください。
- 残量の無くなった電池をカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFFを繰り返さないでください。

● 予備電池を用意する

撮影の際は予備の電池をご用意ください。特に海外では、地域によって電池の入手が困難な場合があるので、ご注意ください。

● 低温時の電池について

電池の一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時にお使いになる場合は、電池やカメラを冷やさないようにしてください。

● 低温時には残量が充分な電池を使い、予備の電池を用意する

低温時に消耗した電池をお使いになると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は、新しい電池かフル充電した充電池を使い、保温した予備の電池を用意して温めながら交互にお使いください。低温下では一時的に性能が低下して使えなかった電池でも、常温に戻ると使える場合があります。

● 電池の接点について

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなる場合があります。電池を入れる前に接点を乾いた布などで拭いてください。

● 電池の残量について

電池の特性上、残量のなくなった電池をカメラに入れると、電池の残量が充分にある状態を示す（電池残量表示が表示されない）ことがありますので、ご注意ください。

● ニッケル水素電池について

- ニッケル水素電池は、残量がある状態で繰り返し充電すると、メモリー効果（一時的に電池容量が低下したような特性を示す現象）によって、電池残量表示が早めに表示されることがあります。最後まで使い切ってから充電すると、正常に戻ります。
- ニッケル水素電池は、お使いにならないときでも自然放電によって残量が減っていきます。お使いになる直前に充電することをおすすめします。

● リチャージャブルバッテリー EN-MH1の充電について

EN-MH1は、専用バッテリーチャージャー MH-71で2本同時に充電してください。2組以上のEN-MH1をお使いの場合は、残量の異なるバッテリーが混在しないようにしてください。

● リチャージャブルバッテリー EN-MH1のリサイクルについて

充電を繰り返して劣化し使用できなくなったバッテリーは、再利用しますので廃棄しないでリサイクルにご協力ください。端子部にテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービスセンターやリサイクル協力店へご持参ください。

Ni-MH

警告メッセージ

画面に表示される警告メッセージの意味は、以下のとおりです。

表示	意味	対処法	
(点滅)	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定する。	93
	電池残量が少なくなりました。	電池交換の準備をする。	10、105
電池残量がありません	電池残量がありません。	電池を交換する。	
AF● (赤色点滅)	ピントを合わせることができません。	• ピントを合わせ直す。 • フォーカスロック撮影を行う。	20
(点滅)	シャッタースピードが遅くなるため、手ブレのおそれがあります。	• フラッシュを使う。 • 三脚を使う。 • 安定した場所におく。 • 体にひじを付けて、両手でしっかりとカメラを固定する。	24 5 – 18
記録中 しばらくお待ちください	画像の記録中です。	記録が終了して警告表示が消灯するまで待つ。	–
カードがロックされています	SDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。	「Lock」を解除する。	15
このカードは使用できません	SDカードへのアクセス異常です。	• 動作確認済みのカードを使う。 • カードの端子部分が汚れていないか確認する。 • カードが正しく挿入されているか確認する。	106 14 14
カードに異常があります			
初期化されていません 初期化する いいえ	SDカードが、COOLPIX L6用に初期化されていません。	[初期化する] を選んで OK ボタンを押し、SDカードを初期化する。	15

付録

表示	意味	対処法	📖
メモリー残量がありません IN／カード	データを記録する空き容量がありません。	• 画像モードを変更する。 • 不要な画像や音声データを削除する。 • 空き容量のある SD カードまたは内蔵メモリーを使う。	28、75 22、42、48、57、87 14、15
画像を保存できません IN／カード	画像記録中にエラーが発生しました。	内蔵メモリー／SD カードを初期化する。	101
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。	• SD カードを交換する。 • 内蔵メモリー／ SD カードを初期化する。	14 101
	編集できない画像を編集しようとしました。	トリミングやスモールピクチャーが可能な条件を確認する。	47
	オープニング画面に登録できない画像です。	スモールピクチャーやトリミングで作成した画像で、画像サイズが320×240以下のものは、登録できません。	–
	画像コピー先の容量不足です。	コピー先の不要な画像を削除する。	87
音声データがありません 🎤	内蔵メモリーまたはSDカードに、録音された音声データがないので再生できません。	▶ ボタンを押して録音モードに切り換え、音声を録音する。	54
この画像はすでに編集されています D-ライティングはできません	スモールピクチャー、トリミング、D-ライティングで作成した画像にD-ライティングを適用しようとしました。	編集された画像には、D-ライティングを適用できません。	47
動画記録できません	SDカードに動画を記録するのに時間がかかっています。	画像記録処理の速いSD カードに交換する。	106
撮影画像がありません	撮影済みの画像がありません。	–	–

表示	意味	対処法	👁
このファイルは表示できません	パソコンや他社のカメラで作成されたファイルです。	このカメラでは再生できません。	–
このデータは再生できません			
このファイルは削除できません	画像にプロテクトがかかっています。	プロテクトを解除する。	87
自宅と訪問先が同じタイムゾーンです	自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しました。	–	95
モードセレクター位置がずれています	モードセレクターが正しい位置にセットされていません。	モードセレクターの中央を使用したいモードの●マークに合わせる。	8
レンズエラー	レンズの作動不良です。	電源を入れ直してください。エラー表示が続く場合は、ニコンサービスセンターまでご連絡ください。	10
通信エラー	パソコンやプリンターとの通信中に、USBケーブルが外れました。	パソコンに警告メッセージが表示された場合、［OK］をクリックしてPictureProjectを終了する。カメラの電源をOFFにしてケーブルを再接続してから、もう一度転送する。プリンターと接続している場合、プリンターの使用説明書を確認する。	64、67
	お使いのパソコンのOSとカメラのUSB通信方式の組み合わせでは、転送できません。	セットアップメニューの［インターフェース］→［USB］の設定を確認する。	62、63
	PictureProjectが起動していません。	–	–
転送マーキングされた画像がありません	転送マーク設定された画像がないのに、パソコンに画像を転送しようとしました。	再生メニューで転送マークを設定してから転送する。	65、88

付録

表示	意味	対処法	📖
転送エラー	画像転送中にエラーが発生しました。	カメラとパソコンの接続状況や電池残量を確認する。	16、62
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	電源をOFFにして電池を入れ直し、もう一度電源をONにしてください。エラー表示が続く場合は、ニコンサービスセンターまでご連絡ください。	10
プリンターエラー プリンターを確認してください	インクが少なくなっているか、プリンターに異常があります。	プリンターを確認し、インクを交換するか、用紙切れなどのエラー原因を取り除いた後、［継続］を選んで OK ボタンを押し、プリントを再開する（エラー内容によっては、［継続］を選べない場合があります）。	–

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービスセンターにお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

表示・設定・電源関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	参照ページ
液晶モニターに何も映らない	• 電源が入っていない。 • 電池残量がない。 • 節電機能により待機状態になっている。 → シャッターボタンを半押しする。 • フラッシュランプが点滅している。 → フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。 • カメラとパソコンが USB ケーブルで接続されている。 • AV ケーブルが接続されている。	10 10 11、21 25 62 61
液晶モニターがよく見えない	• 明るい場所に移動してください。 • 液晶モニターの明るさを調整する。 • 液晶モニターが汚れている。	11 96 108
カメラの電源が突然切れる	• 電池残量がない。 • 低温下ではカメラや電池が正常に動作しない場合があります。	16 110
SDカードの［標準初期化］ができない	電池残量が不足している。	16、101
撮影日時が正しく表示されない	• 日時設定を行っていない場合や撮影時に時計マークが点滅している場合は、撮影日時は［0000.00.00　00:00（静止画）］、［2006.09.01 00:00（動画）］と記録されます。セットアップメニューの［日時設定］で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないので、定期的に日時設定を行うことをおすすめします。	12 93
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー［モニター設定］の［モニター表示設定］が［情報OFF］になっている。	96
［デート写し込み］が選べない	セットアップメニュー［日時設定］が設定されていない。	12、93
［デート写し込み］を有効にしたのに、日付が印字されない	以下の場合、日付は印字されません。 • シーンモードの［パノラマアシスト］で撮影した画像 • 動画	 40 49

付録

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
設定内容が初期状態に戻ってしまった	バックアップ電池が切れたため、設定がリセットされました。	94

●デジタルカメラの特性について

きわめて希に、液晶モニターに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。このような場合は、電源をOFFにして電池を入れ直し、もう一度電源をONにしてみてください。これによってカメラが作動しなくなったときのデータは失われるおそれがありますが、すでに内蔵メモリーまたはSDカードに記録されているデータは失われません。この操作を行ってもカメラに不具合が続く場合は、ニコンサービスセンターにお問い合わせください。

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影できない	• 再生モードになっている。→ ▶ ボタンを押す。 • メニューが表示されている。→ MENU ボタンを押す。 • 電池残量がない。 • フラッシュランプが点滅している。 → フラッシュの充電中	22 9 16 25
ピントが合わない	• ピントが合いにくい被写体（明暗差がはっきりしない／遠くのものと近くのものが混在する／連続した繰り返しパターン／極端な輝度差がある／背景に対してメインの被写体が小さい／絵柄が細かい）を撮影している。→ フォーカスロックを利用して撮影する • 電源を入れ直す。	21 10
画像がぶれる	• フラッシュを使う。 • BSS（ベストショットセレクター）を使う。 • 三脚などでカメラを安定させる（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。	24 81 5、26
手ブレお知らせ画面が表示されない	セルフタイマー撮影時、動画撮影時、シーンモードの［スポーツ］、［ミュージアム］、［打ち上げ花火］、［パノラマアシスト］のとき、［撮影メニュー］の［連写］モードが［連写］か［マルチ連写］、または［BSS］が［ON］のときは、表示されません。	26 28 49 80 81

付録

こんなときは	考えられる原因や対処法	
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいる。→ フラッシュモードを（発光禁止）にする。	24
フラッシュが発光しない	• フラッシュモードが 発光禁止になっている。 • フラッシュが発光しないシーンモードになっている。 • モードになっている。 • 撮影メニュー［連写］モードが［連写］か［マルチ連写］、または［BSS］が［ON］になっている。	24 29、35 49 80、81、82
光学ズームが使えない	動画撮影中は使えません。	49
電子ズームが使えない	撮影メニュー［連写］モードが［マルチ連写］のとき、シーンモードの（ポートレート）、（夜景ポートレート）、（スポーツ）の［スポーツマルチ連写］のときは、電子ズームは使えません。	28、80
［画像モード］が選べない	撮影メニュー［連写］モードが［マルチ連写］のとき、シーンモード（スポーツ）の［スポーツマルチ連写］のときは、設定できません。	33、80
シャッター音が鳴らない	セットアップメニュー［操作音］→［シャッター音］が［OFF］になっている。	99
画像が鮮明でない	レンズが汚れている。	108
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスが選ばれていない。	77
画像がザラつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっている。 →フラッシュを使う →ノイズ低減機能付きのシーンモードで撮影する	 24 34、37
画像が暗すぎる	• フラッシュモードが（発光禁止）になっている。 • フラッシュが指などでさえぎられている。 • 被写体にフラッシュの光が届いていない。 • 露出を補正する。 • 逆光で撮影している。 → シーンモードの［逆光］にするか、フラッシュモードを（強制発光）にする。	24 18 24 79 24、39
画像が明るすぎる	露出を補正する。	79

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
赤目以外の部分が補正された	フラッシュモードが⚡◎（赤目軽減自動発光）のときや、シーンモードの（ポートレート）や（夜景ポートレート）で撮影したときには、ごくまれに赤目以外の部分が補正される場合があります。このような場合は、上記以外の撮影モードで撮影するか、フラッシュモードを⚡AUTO（自動発光）か⚡（強制発光）にして撮影してください。	24、30、34

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、ファイル名が変更された。	–
画像の拡大表示ができない	動画やスモールピクチャー、320×240以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。	–
音声メモを録音できない	動画には音声メモを付けられません。	53
画像がテレビに映らない	セットアップメニュー［インターフェース］の［ビデオ出力］が正しく設定されていない。	102
カメラをパソコンに接続しても、PictureProject が自動起動しない	• カメラの電源が OFF になっている。 • 電池残量がない。 • USB ケーブルが正しく接続されていない。 • セットアップメニュー［インターフェース］→［USB］が正しく設定されていない。 • パソコンにカメラが正しく認識されていない。 • PictureProject　が自動起動しない設定になっている。 PictureProjectについては、付属のPictureProjectソフトウェア使用説明書（CD-ROM）（銀色）をご参照ください。	10 16 64 62、63 – –
転送マークを付けられない	1000コマ以上に転送マークを付けることはできません。PictureProjectの［転送］ボタンで転送してください。	64
転送マークを付けたのに、認識されない	COOLPIX L6以外のカメラで転送設定した画像です。もう一度COOLPIX L6で転送設定を行ってください。	65、88

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX L6

項目	仕様
型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	6.0メガピクセル
撮像素子	1/2.5型原色CCD、総画素数6.18メガピクセル
画像モード	• 2816 × 2112［高画質（2816★）／標準（2816)］ • 2048 × 1536［エコノミー（2048)］ • 1024 × 768［パソコン（1024)］ • 640 × 480［TV（640)］
レンズ	光学3倍ズームニッコールレンズ
焦点距離	f = 6.3～19.2 mm （35mm判換算38～116 mm）
絞り	F3.2～F5.3
レンズ構成	5群5枚
電子ズーム	最大4倍（35mm判換算で約464mm相当）
オートフォーカス	コントラスト検出方式
撮影距離	• レンズ前約 30cm ～∞ • マクロモード時は約 10cm（🌷 マークが緑色表示時）～∞
AFエリア	中央
液晶モニター	2.5型 TFT液晶、11.5万画素、輝度調節機能付き（5段階）
視野率（撮影時）	上下左右とも約97%（対実画面）
視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）
記録形式	
記録媒体	内蔵メモリー（約23MB)、SDメモリーカード
画像ファイル	DCF、Exif 2.2、DPOF準拠
ファイル形式	圧縮：JPEG-Baseline準拠 動画：QuickTime 音声：WAV
露出	
測光方式	マルチパターン測光
露出制御	プログラムオート、露出補正（±2段の範囲で1/3段刻み）可能
露出連動範囲（ISO 100換算）	広角側：EV＋0.6～＋16.9 望遠側：EV＋2.1～＋18.5
シャッター	メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用
シャッタースピード	4～1/1500秒

付録

絞り	電磁駆動による絞り開口選択方式
制御段数	2（F3.2、F6.4［広角側］）
ISO感度	オート（ISO50～800相当）
セルフタイマー	約10秒
内蔵フラッシュ	
調光範囲	約0.3～5.0m（広角側）、約0.3～3.0m（望遠側）
調光方式	自動調光制御
インターフェース	USB
ビデオ出力	NTSC、PALから選択可能
入出力端子	オーディオビデオ出力／デジタル端子（USB）
言語	チェコ語、デンマーク語、ドイツ語、英語、スペイン語、フランス語、インドネシア語、イタリア語、オランダ語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ロシア語、フィンランド語、スウェーデン語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語、タイ語の20言語
電源	• 単3形アルカリ電池、単3形オキシライド乾電池、単3形リチウム電池のいずれかを各2本 • リチャージャブルバッテリーEN-MH1（ニッケル水素電池）2本 • ACアダプターキットEH-65A
記録可能コマ数（電池寿命）※	約1000コマ（リチウム電池使用時）、約400コマ（アルカリ電池使用時）、約540コマ（EN-MH1使用時）
寸法	約91（W）×60.5（H）×26（D）mm（突起部除く）
質量	約125g（電池、SDカード除く）
動作環境	
温度	0～＋40℃
湿度	85%以下（結露しないこと）

※CIPA規格（電池寿命測定方法を定めたカメラ映像機器工業会の規格）によるものです。測定条件は、25℃、撮影ごとにズーム、2回に1回の割合でフラッシュ撮影、画像モード「6M標準」です。撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などにより、コマ数は変動することがあります。

• 仕様中のデータは、すべて常温（25℃）、リチウム電池使用時のものです。

このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system（DCF）：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。
- DPOF (Digital Print Order Format)：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif (Exchangeable image file format) Version 2.2：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報をいかして最適なプリント出力を得ることができます。詳しくはプリンターの使用説明書をご参照ください。
- PictBridge：デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。

使用説明書について

- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

索引

英数・マーク

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

付録

アフターサービスについて

■この製品の操作方法や修理についてのお問い合わせは

この製品の操作方法や修理について、ご質問がございましたら、ニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

- ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご覧ください。

●お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、またはニコンサービスセンターにご依頼ください。

- ニコンサービスセンターにつきましては、「ニコン　サービス機関のご案内」をご覧ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は最寄りの販売店、またはニコンサービスセンターにご相談ください。
- 修理に出されるときに、SD カードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ご購入店またはニコンサービスセンターへお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービスセンターにお任せください。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社Webサイトでご覧いただくことができます。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行

FAX:03-5977-7499

【お問い合わせ承り書】 太枠内のみご記入ください

お問い合わせ日：　　　　　　　年　　月　　日

お買い上げ日：　　　　　　　年　　月　　日

製品名：　　　　　　　シリアル番号：

フリガナ
お名前：

連絡先ご住所：□自宅　　□会社

〒

TEL:

FAX:

ご使用のパソコンの機種名：

メモリー容量：　　　　　　　ハードディスクの空き容量：

OS のバージョン：　　　　　　　ご使用のインターフェースカード名：

その他接続している周辺機器名：

ご使用のアプリケーションソフト名：

ご使用の当社ソフトウェアのバージョン名：

問題が発生した時の症状、表示されたメッセージ、症状の発生頻度：
（おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください）

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

製品の使い方と修理に関するお問い合わせ

＜ニコンカスタマーサポートセンター＞

全国共通
☎ **0570-02-8000**
市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00（年末年始、夏期休暇等を除く毎日）
携帯電話、PHS等をご使用の場合は、**03-5977-7033** におかけください。
FAXでのご相談は、**03-5977-7499** におかけください。

音声によるご案内に従い、ご利用窓口の番号を入力してください。お問い合わせ窓口の担当者がご質問にお答えいたします。

修理サービスのご案内

修理サービスのご案内を下記URLにて行っております。
インターネットを利用して修理サービスの申し込みができます。
「修理見積り」、「修理状況」、「納期」などもご確認できますのでご利用ください。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/service/repair/index.htm

<インターネットを利用できない方のお問合せ>
ニコンカメラ販売（株）　サービス部　　**電話：045-500-3050**
営業時間：9:30～17:30（土・日曜日、祝日、年末年始、夏期休業などを除く毎日）

株式会社 ニコン
ニコンカメラ販売株式会社

Printed in Japan
YP6G00750201(10)
6MA20710--